

機関投資家様向け会社説明会

2017年5月29日

山口フィナンシャルグループ 代表取締役 吉村 猛



平成28年度の業績概要

平成28年度決算の概要(グループ連結)

(億円)		H27年度	H28年度	前年 同期比
経常収益	1	1,655	1,635	▲ 19
コア業務粗利益	2	1,035	1,040	5
うち資金利益	3	911	887	▲ 24
うち役務取引等利益	4	164	170	5
うちその他業務利益	5	▲ 58	▲ 40	18
経費(△) (除く臨時処理分)	6	783	757	▲ 26
コア業務純益	7	251	283	31
臨時損益	8	137	108	▲ 29
うち株式等関係損益	9	79	107	28
経常利益	10	497	467	▲ 29
親会社株主に帰属する当期純利益	11	322	315	▲ 7
与信関係費用(△)	12	▲ 35	▲ 18	16

※単位未満は切捨て表示。

決算概要

- ・経常収益は貸出金利息や貸倒引当金戻入益の減少等により、1,635億円となり、前年同期比▲19億円。
- ・経常利益は467億円となり、前年同期比▲29億円。
- ・親会社に帰属する当期純利益は315億円となり、前年同期比▲7億円。

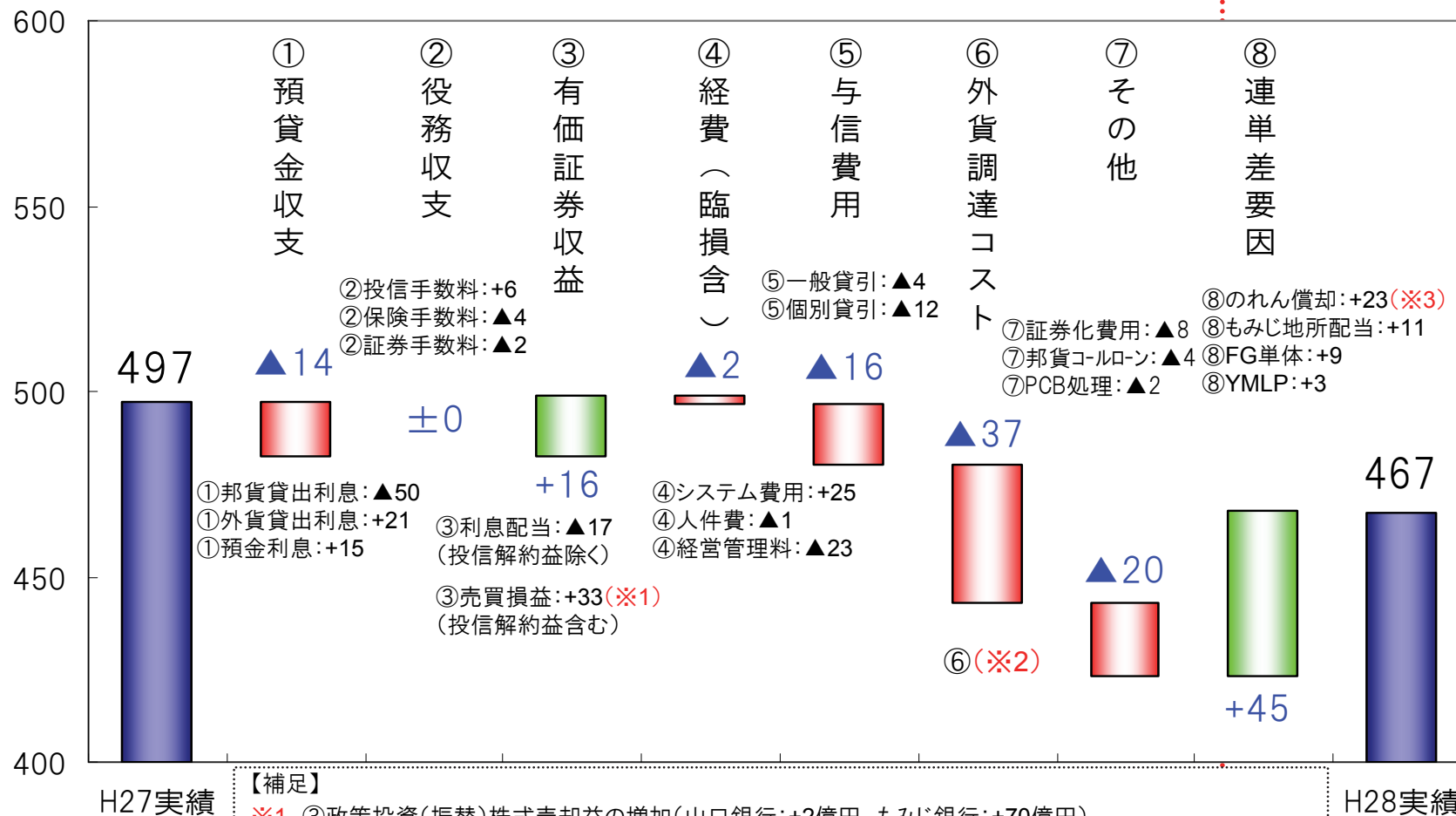
連単差

3行合算当期純利益	317億円
のれん償却費(もみじ銀行他)	△25億円
FG連結調整等	24億円
YMFG連結当期純利益	315億円

連結経常利益 増減要因(平成27年度⇒平成28年度)

【FG連結経常利益】

3行合算ベース(①～⑦)← (単位:億円)



【補足】

- ※1 ③政策投資(振替)株式売却益の増加(山口銀行:+2億円、もみじ銀行:+70億円)
- ※2 ⑥残高増加(+1,200億円)要因:▲16億円、調達金利上昇(+0.60%)要因:▲21億円
- ※3 ⑧もみじHDとの統合にかかるのれん償却(年間▲49億円)が平成28年度上期で終了

Yamaguchi Financial Group

平成28年度決算の概要(3行合算)

(億円)		H27年度	H28年度	前年同期比
経常収益	1	1,488	1,458	▲ 30
コア業務粗利益	2	976	953	▲ 23
うち資金利益	3	925	891	▲ 34
うち役務取引等利益	4	118	118	▲ 0
うちその他業務利益	5	▲ 68	▲ 57	10
経費(△) (除く臨時処理分)	6	692	680	▲ 12
コア業務純益	7	283	272	▲ 11
臨時損益	8	103	76	▲ 26
うち株式等関係損益	9	79	107	28
経常利益	10	533	459	▲ 73
当期純利益	11	370	317	▲ 52
与信関係費用(△)	12	▲ 35	▲ 19	16

※単位未満は切捨て表示。

決算概要

- ・経常利益は459億円となり、前年同期比▲73億円となりました。
- ・当期純利益は317億円となり、前年同期比▲52億円となりました。

資金利益

単位：億円

3行合算	H29/3	前年同期比
資金利益	891	▲ 34
預貸金収支	690	▲ 14
貸出金利息	741	▲ 29
預金利息	51	▲ 14
有価証券利息	214	0
投信解約益	76	18
その他	▲ 13	▲ 20

平成28年度決算の概要(山口銀行)

(億円)

		H27年度	H28年度	前年同期比
経常収益	1	873	791	▲ 82
業務粗利益	2	598	586	▲ 12
資金利益	3	504	470	▲ 33
役務取引等利益	4	74	72	▲ 1
その他業務利益 (うち国債等債券損益)	5	19 (90)	41 (85)	22 (▲4)
経費(除く臨時処理分)(△)	6	324	327	3
一般貸倒引当金繰入額(△)	7	-	▲ 4	▲ 4
業務純益(一般貸倒引当金繰入前)	8	273	258	▲ 15
コア業務純益	9	183	172	▲ 11
臨時損益	10	74	6	▲ 67
うち株式等関係損益	11	49	33	▲ 16
うち不良債権処理額(△)	12	0	5	5
うち貸倒引当金戻入益	13	16	-	▲ 16
うち償却債権取立益	14	0	0	0
経常利益	15	347	269	▲ 78
特別損益	16	12	▲ 1	▲ 13
税引前当期純利益	17	360	268	▲ 92
当期純利益	18	247	185	▲ 61
与信関係費用(7+12-13-14)(△)	19	▲ 15	1	16

※記載金額は、単位未満を切捨て表示

決算概要

減収減益

- ・経常収益は貸出金利息や貸倒引当金戻入益の減少を主因とし、791億円となり、前年同期比▲82億円。
- ・経常利益は269億円となり、前年同期比▲78億円。
- ・当期純利益は185億円となり、前年同期比▲61億円。

資金利益

単位: 億円

山口銀行	H29/3	前年同期比
資金利益	470	▲ 33
預貸金収支	359	▲ 5
貸出金利息	389	▲ 16
預金利息	30	▲ 11
有価証券利息	121	▲ 11
投信解約益	26	▲ 5
その他	▲ 9	▲ 16

平成28年度決算の概要(もみじ銀行)

(億円)

		H27年度	H28年度	前年同期比
経常収益	1	508	546	37
業務粗利益	2	372	330	▲ 41
資金利益	3	319	315	▲ 4
役務取引等利益	4	35	38	2
その他業務利益 (うち国債等債券損益)	5	16 (16)	▲22 (▲9)	▲39 (▲25)
経費(除く臨時処理分)(△)	6	274	261	▲ 13
一般貸倒引当金繰入額(△)	7	-	-	-
業務純益(一般貸倒引当金繰入前)	8	97	68	▲ 28
コア業務純益	9	81	78	▲ 3
臨時損益	10	56	88	32
うち株式等関係損益	11	25	73	48
うち不良債権処理額(△)	12	1	1	▲ 0
うち貸倒引当金戻入益	13	19	12	▲ 6
うち償却債権取立益	14	0	0	▲ 0
経常利益	15	154	157	3
特別損益	16	▲ 0	▲ 2	▲ 2
税引前当期純利益	17	154	154	0
当期純利益	18	104	109	4
与信関係費用(7+12-13-14)(△)	19	▲ 18	▲ 11	6

※記載金額は、単位未満を切捨て表示

決算概要

増収増益

- ・経常収益は株式等売却益の増加を主因とし、546億円となり、前年同期比+37億円。
- ・経常利益は157億円となり、前年同期比+3億円。
- ・当期純利益は109億円となり、前年同期比+4億円。

資金利益

単位: 億円

もみじ銀行	H29/3	前年同期比
資金利益	315	▲ 4
預貸金収支	230	▲ 12
貸出金利息	244	▲ 13
預金利息	14	▲ 0
有価証券利息	88	11
投信解約益	49	24
その他	▲ 3	▲ 3

平成28年度決算の概要(北九州銀行)

(億円)

		H27年度	H28年度	前年同期比
経常収益	1	144	141	▲ 2
業務粗利益	2	114	112	▲ 1
資金利益	3	102	105	3
役務取引等利益	4	8	7	▲ 1
その他業務利益 (うち国債等債券損益)	5	4 (2)	▲12 (-)	▲4 (▲2)
経費(除く臨時処理分)(△)	6	93	91	▲ 2
一般貸倒引当金繰入額(△)	7	-	-	-
業務純益(一般貸倒引当金繰入前)	8	21	21	0
コア業務純益	9	18	21	2
臨時損益	10	10	11	0
うち株式等関係損益	11	4	1	▲ 3
うち不良債権処理額(△)	12	0	0	▲ 0
うち貸倒引当金戻入益	13	2	8	6
うち償却債権取立益	14	0	-	▲ 0
経常利益	15	31	32	1
特別損益	16	▲ 0	▲ 0	0
税引前当期純利益	17	30	32	1
当期純利益	18	18	22	3
与信関係費用(7+12-13-14)(△)	19	▲ 2	▲ 8	▲ 6

※記載金額は、単位未満を切捨て表示

決算概要

減収増益

- ・**経常収益**は貸出金利息は増加したものの、有価証券関係収益の減少により、141億円となり、前年同期比▲2億円。
- ・**経常利益**は32億円となり、前年同期比+1億円。
- ・**当期純利益**は22億円となり、前年同期比+3億円。

資金利益

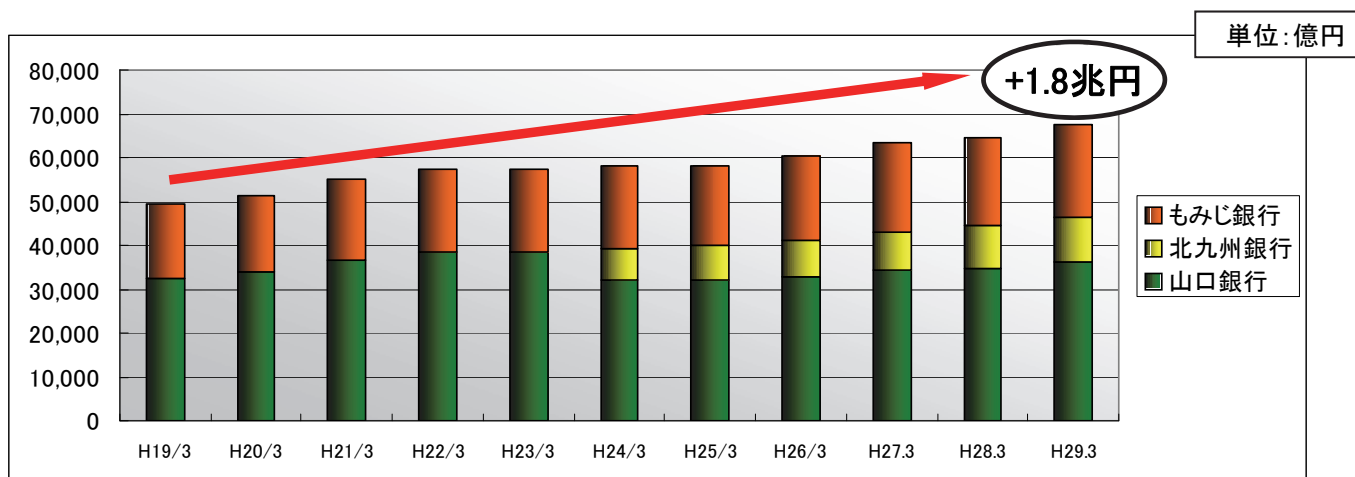
単位: 億円

北九州銀行	H29/3	前年同期比
資金利益	105	3
預貸金収支	100	3
貸出金利息	107	1
預金利息	6	▲ 2
有価証券利息	4	0
投信解約益	0	0
その他	0	▲ 0

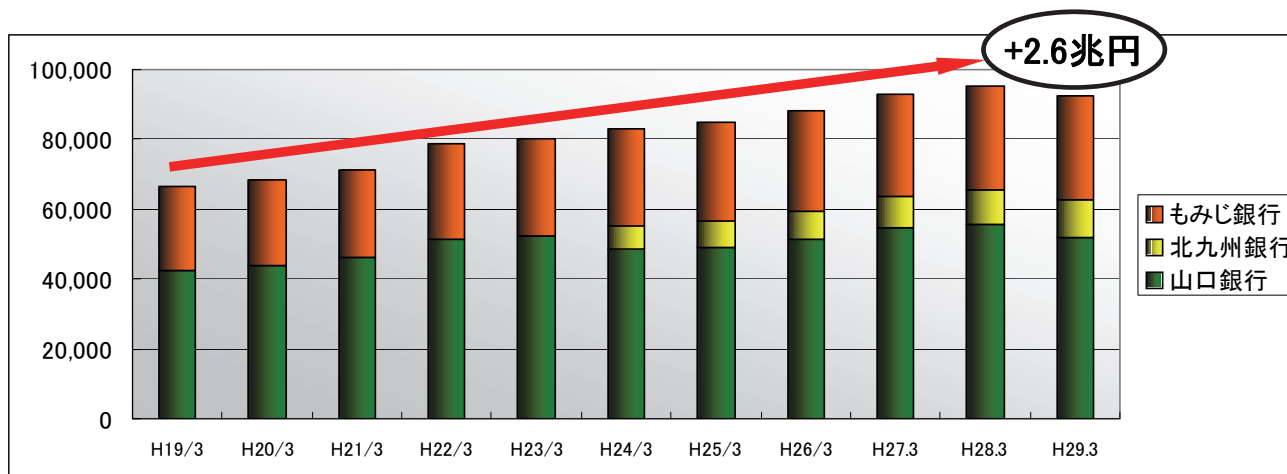
預貸金の状況

- ▶ 3行合算で、貸出金は前年同期比+2,992億円、預金は前年同期比▲2,634億円。
- ▶ 設立10年で、貸出金は約1.8兆円、預金は約2.6兆円の増加。

貸出金
(未残)



預金
(未残)

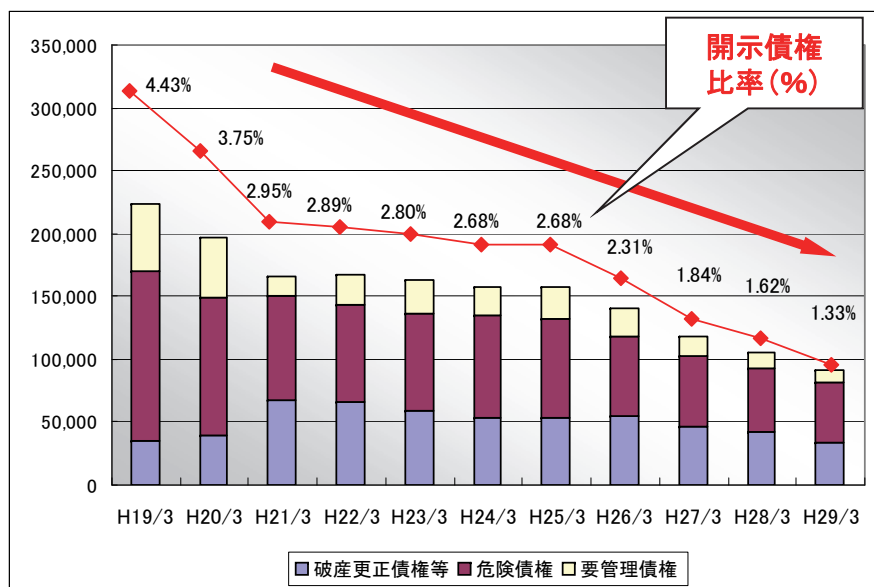


不良債権の状況

▶ 金融再生法開示債権残高は年次減少、平成29年3月期は同比率1.33%の水準へ。

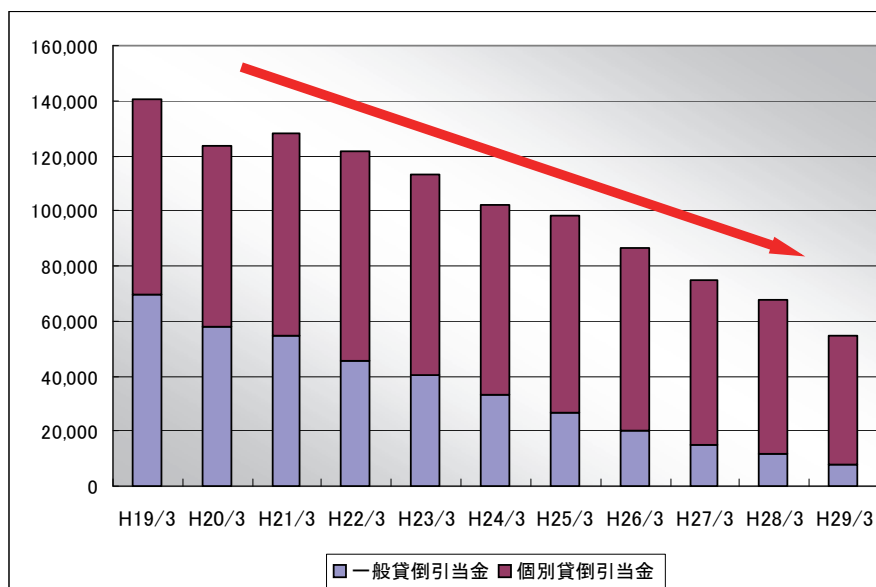
金融再生法開示債権残高（3行合算）

百万円



貸倒引当金の状況

百万円

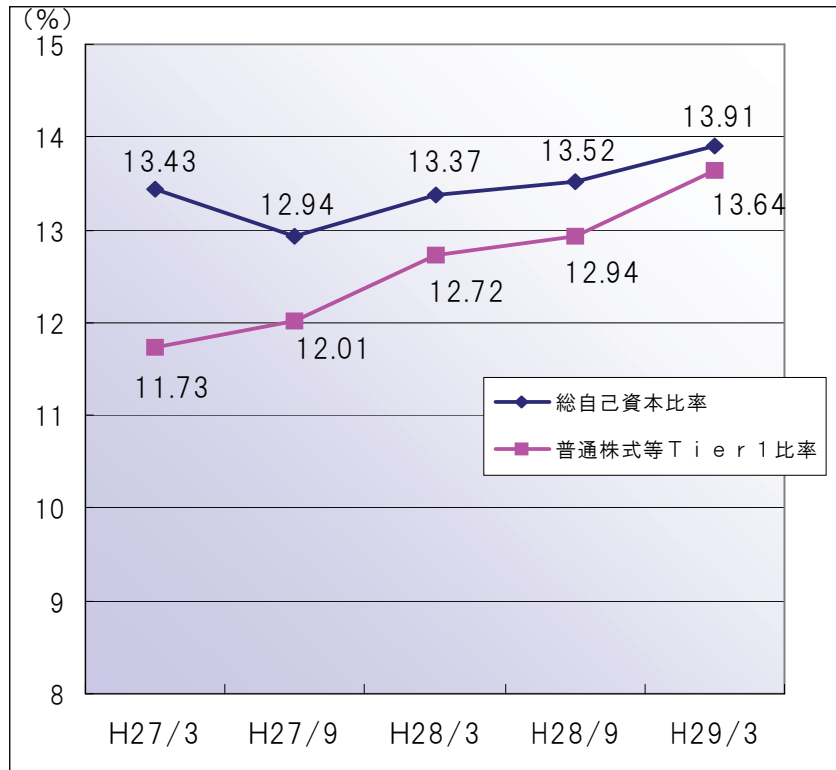


自己資本比率の推移

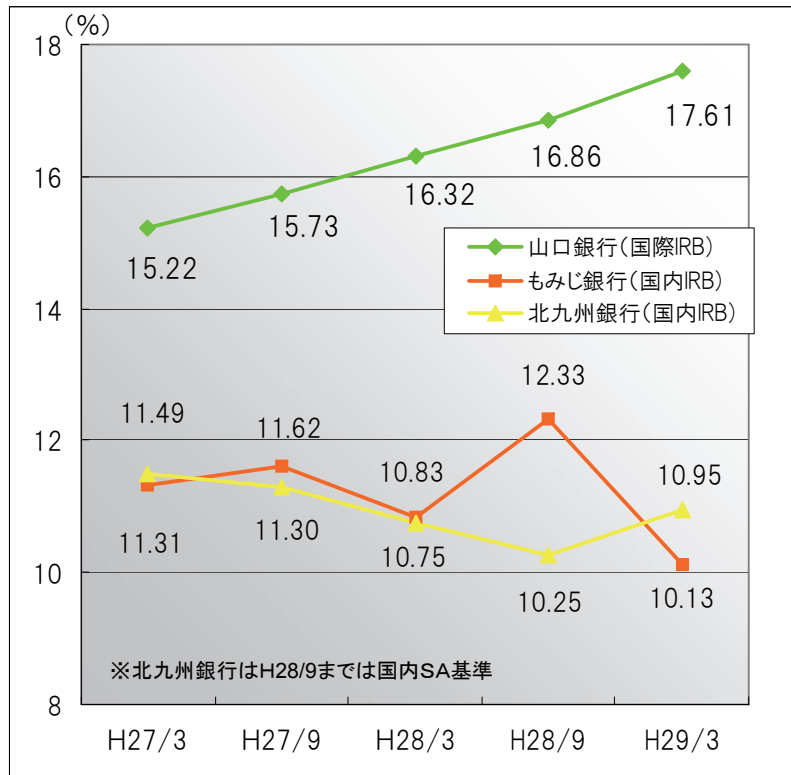
- ▶ 山口FGの連結総自己資本比率、平成29年3月末 13.91% (前年同期比+0.54%)。
- ▶ 山口銀行(単) 17.61% (前年同期比+1.29%)、もみじ銀行(単) 10.13% (前年同期比▲0.70%)、北九州銀行(単) 10.95% (前年同期比+0.20%)。

自己資本規制強化の流れもあり、引き続き十分な資本水準の確保を行う。

山口フィナンシャルグループ連結



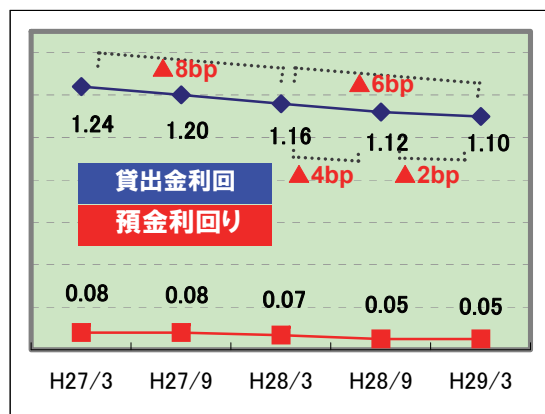
グループ3行の自己資本比率



預貸金利回りの状況

▶ 貸出金利回りはグループ3行にて前年同期比▲0.06～0.09%。足元では下げ幅鈍化傾向あり。

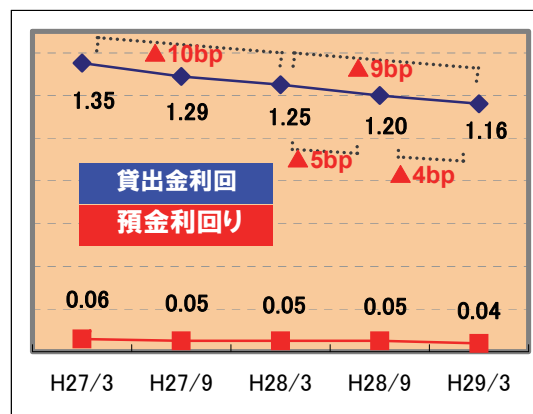
山口銀行



(%)

	H27下期	H28下期	前年比
貸出金利回	1.16	1.10	▲ 0.06
預金等利回	0.07	0.05	▲ 0.02

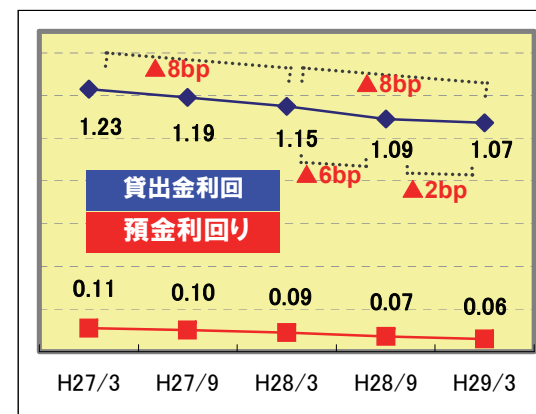
もみじ銀行



(%)

	H27下期	H28下期	前年比
貸出金利回	1.25	1.16	▲ 0.09
預金等利回	0.05	0.04	▲ 0.00

北九州銀行



(%)

	H27下期	H28下期	前年比
貸出金利回	1.15	1.07	▲ 0.08
預金等利回	0.09	0.06	▲ 0.03

(ご参考:貸出金利息額)北九州銀行は前年比プラスで利回り低下をボリュームでカバー。

単位:億円

	H27年度	H28年度	前年比
貸出金利息	406	389	▲ 16

単位:億円

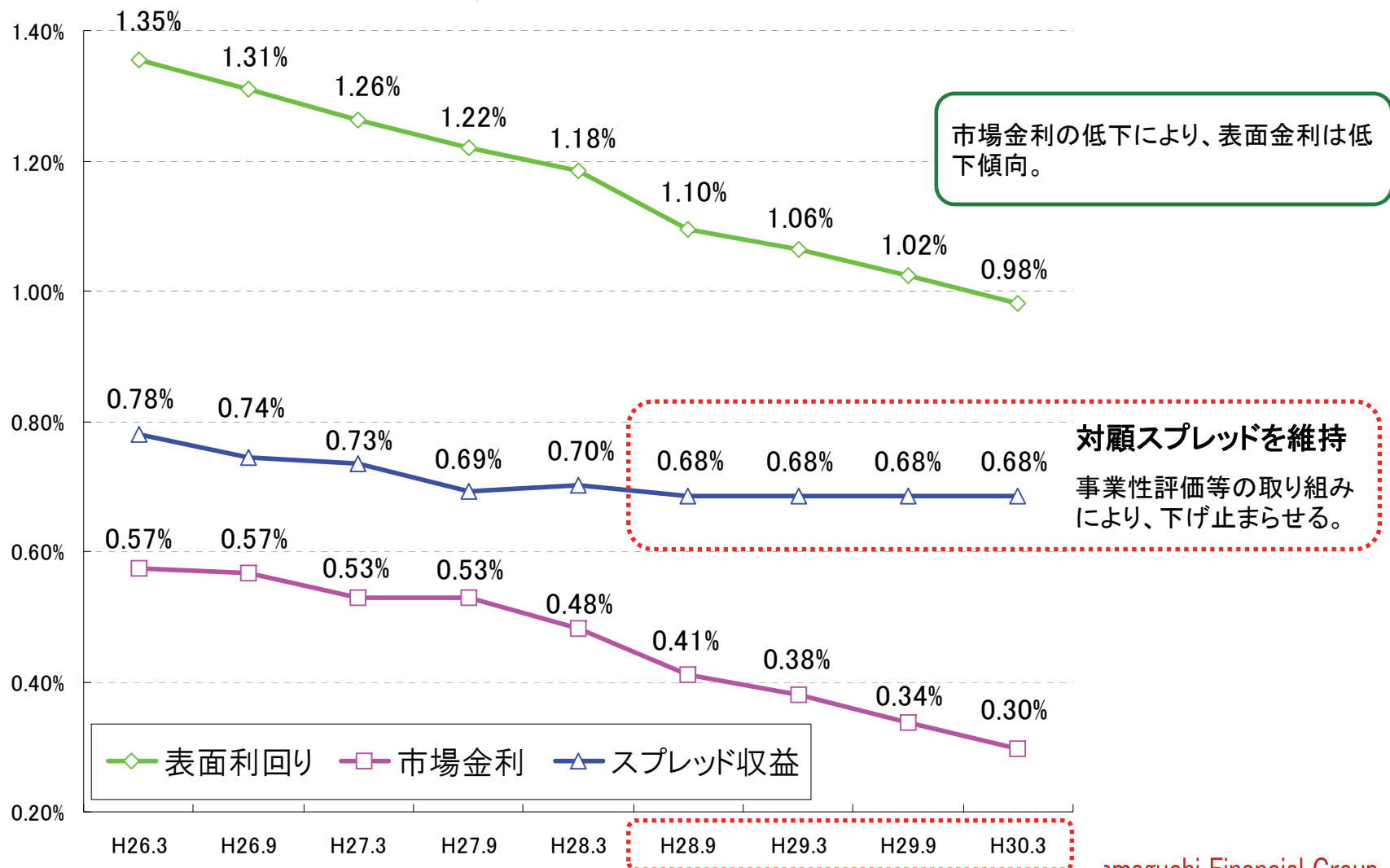
	H27年度	H28年度	前年比
貸出金利息	258	244	▲ 13

単位:億円

	H27年度	H28年度	前年比
貸出金利息	106	107	▲ 1

(ご参考) 邦貨貸出金利回りの推移

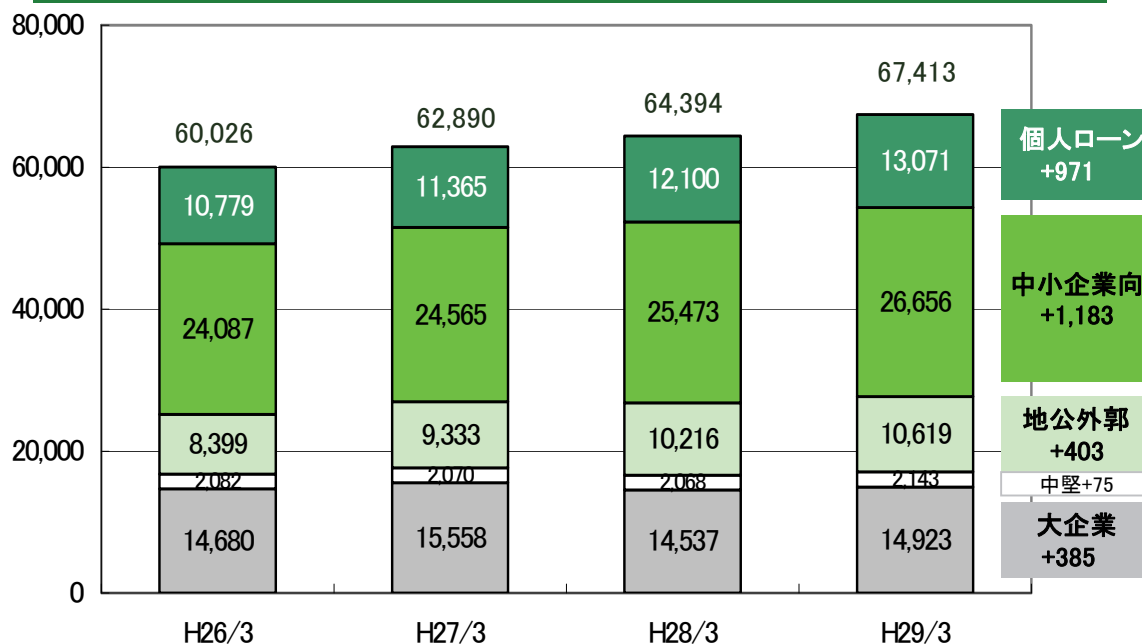
【邦貨貸出金利回り】



貸出金の内訳(3行合算)

- ▶ 貸出金(3行合算)については、中小企業等向け・個人ローンが成長のエンジン。
- ▶ 引き続き、事業性評価やライフプランニングを実践するなかで増強していく。

貸出金末残内訳別推移(単位:億円)



H29/3実績および今後の計画

【個人ローン】

- ・住宅の新築ニーズ取り込み、借り換え見直し等を中心にH28/3比+971億円。
- ・H30/3期は平残ベースで+4.5%増を計画。

【中小企業等向け】

- ・事業性評価の着実な実践により、H28/3比+1,183億円。
- ・H30/3期は平残ベースで+6.8%増を計画。

中小企業向けと個人ローンが貸出金増強の成長エンジン

【参考】各主要地域の貸出金年率(3行合算)

主要エリア	対前年伸び率※
山口県	3.0%
広島県	3.2%
北九州市	5.1%

※H29/3期とH28/3期の比較

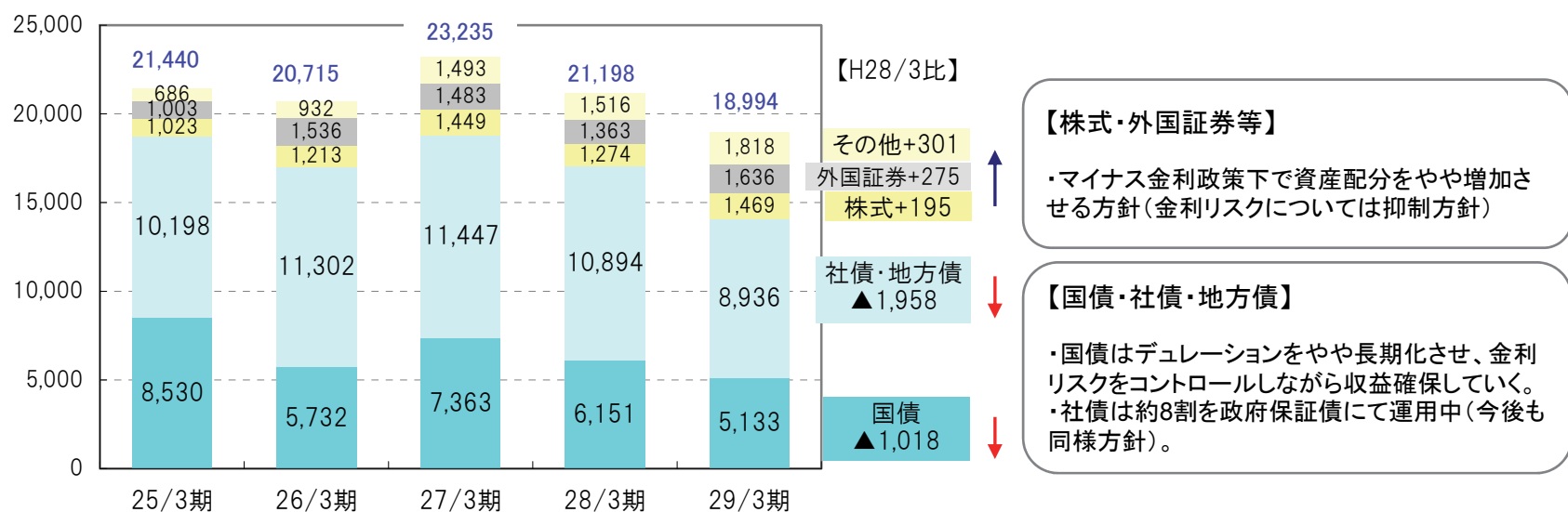
主要エリア別でみると山口県・広島県で約3%程度、北九州エリアは約5%の伸び率となっている。

事業性評価については後述ページにてご説明します。

有価証券ポートフォリオ

▶ 有価証券運用については、相場動向に応じ、機動的な売買により売却益を確保していく。

有価証券残高推移(億円)



【株式・外国証券等】
 ・マイナス金利政策下で資産配分をやや増加させる方針(金利リスクについては抑制方針)

【国債・社債・地方債】
 ・国債はデュレーションをやや長期化させ、金利リスクをコントロールしながら収益確保していく。
 ・社債は約8割を政府保証債にて運用中(今後も同様方針)。

保有債券デュレーション(年)

	H27/3	H27/9	H28/3	H28/9	H29/3	H28/9比
	山口銀行					
国内債	4.31	4.49	4.72	4.72	5.35	0.63
外国債	5.36	4.67	4.45	4.58	5.05	0.47
もみじ銀行						
国内債	3.63	3.81	4.15	5.00	5.75	0.75
外国債	2.67	2.22	2.94	3.77	4.05	0.28
北九州銀行						
国内債	9.61	9.46	8.19	7.81	7.30	▲0.51
外国債	-	-	-	-	-	-

有価証券評価損益(平成29年3月期:億円)

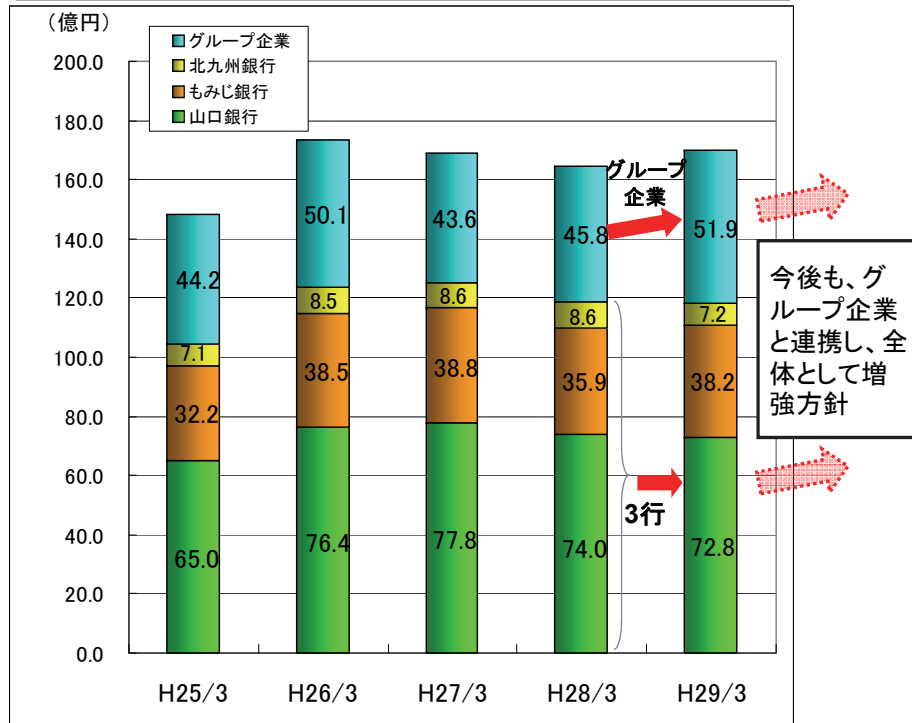
	山口	もみじ	北九州	FG連結	H28/3比
	株式	622	38	153	
債券	76	18	5	100	▲219
その他	▲62	▲54	-	▲117	15
合計	636	3	159	794	22

役務収益の状況

- ▶ グループ全体の役務取引等利益は170億円と前年同期比+5億円(保険ひろば子会社化が主因)。
- ▶ 3行については投信手数料増も、保険・証券仲介手数料減により、微増に留まる。

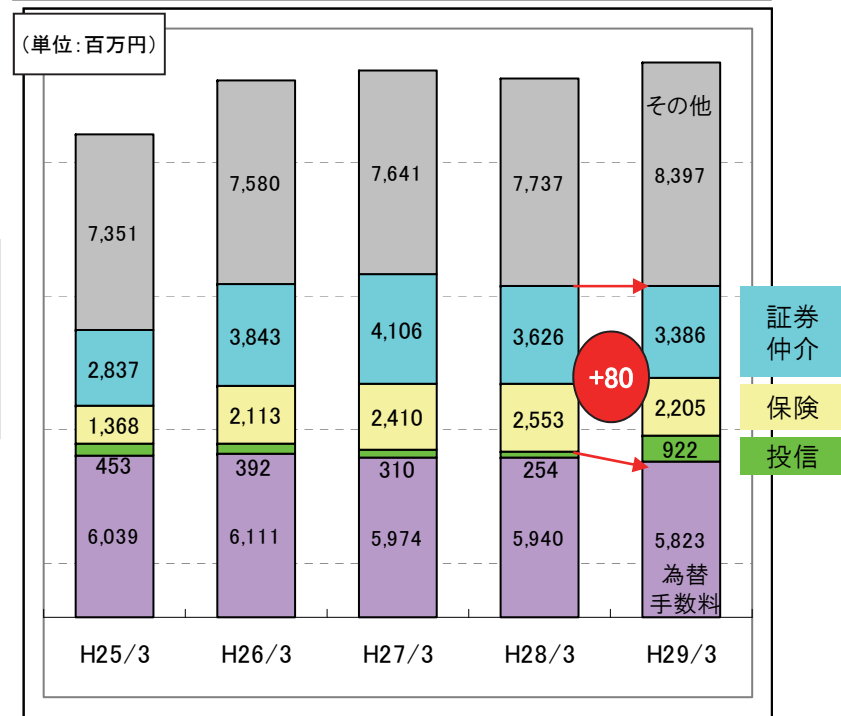
●グループ連結の役務取引等利益

- ・保険ひろば子会社により、グループ企業(3行除く)の役務収益は前年比+6億円。
- ・3行の役務取引等利益はほぼ前年並み。



●3行の役務収益(預り資産)の状況

- ・投信の窓口販売再開し、+6億円強の手数料増となるも、証券仲介(▲2億円)・保険(▲3億円)の減少により、前年比+0.8億円となった。



平成29年度業績予想について

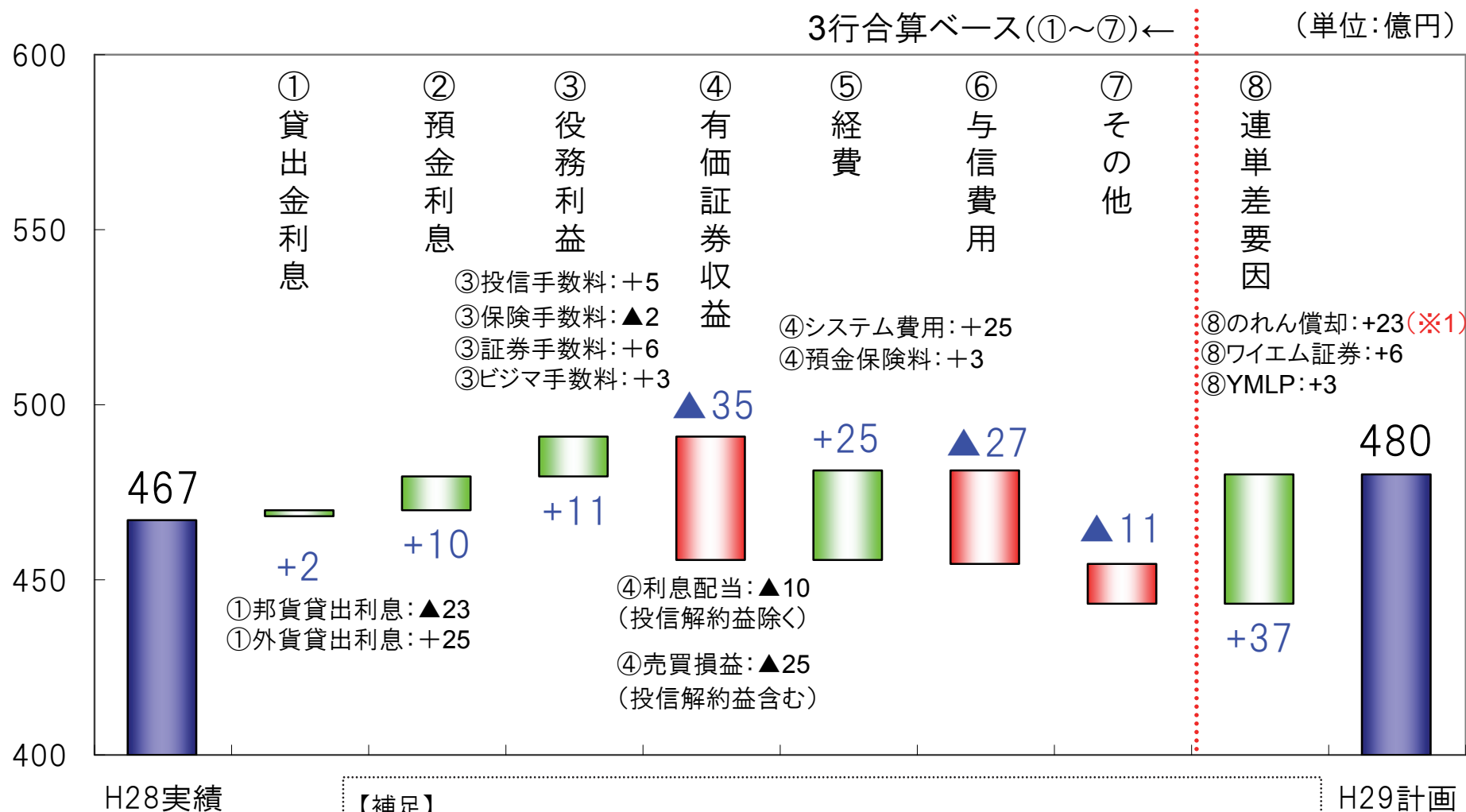
平成29年度決算見込み(グループ連結)

経常利益ベースで480億円(前年度比+13億円)を見込む。

	平成28年度 (実績)	平成29年度 (計画)	前年同期比
コア業務粗利益	1,040億円	1,042億円	+2億円
うち預貸金収支	688億円	700億円	+12億円
うち役務取引等利益	170億円	195億円	+25億円
経常利益	467億円	480億円	+13億円
親会社に帰属する 当期純利益	315億円	325億円	+10億円
1株当たり配当	18円	20円	+2円
貸出金平残(3行合算)	65,599億円	68,680億円	+3,081億円
貸出金利回り	1.13%	1.08%	▲0.05%
(ご参考)			
3M Tibor(平均)	0.06%	0.06%	±0.00%
10年国債(平均)	▲0.05%	0.10%	+0.15%
日経平均株価(平均)	17,500円	20,000円	+2,500円

詳細は
次ページ

連結経常利益 増減要因(平成28年度⇒平成29年度)



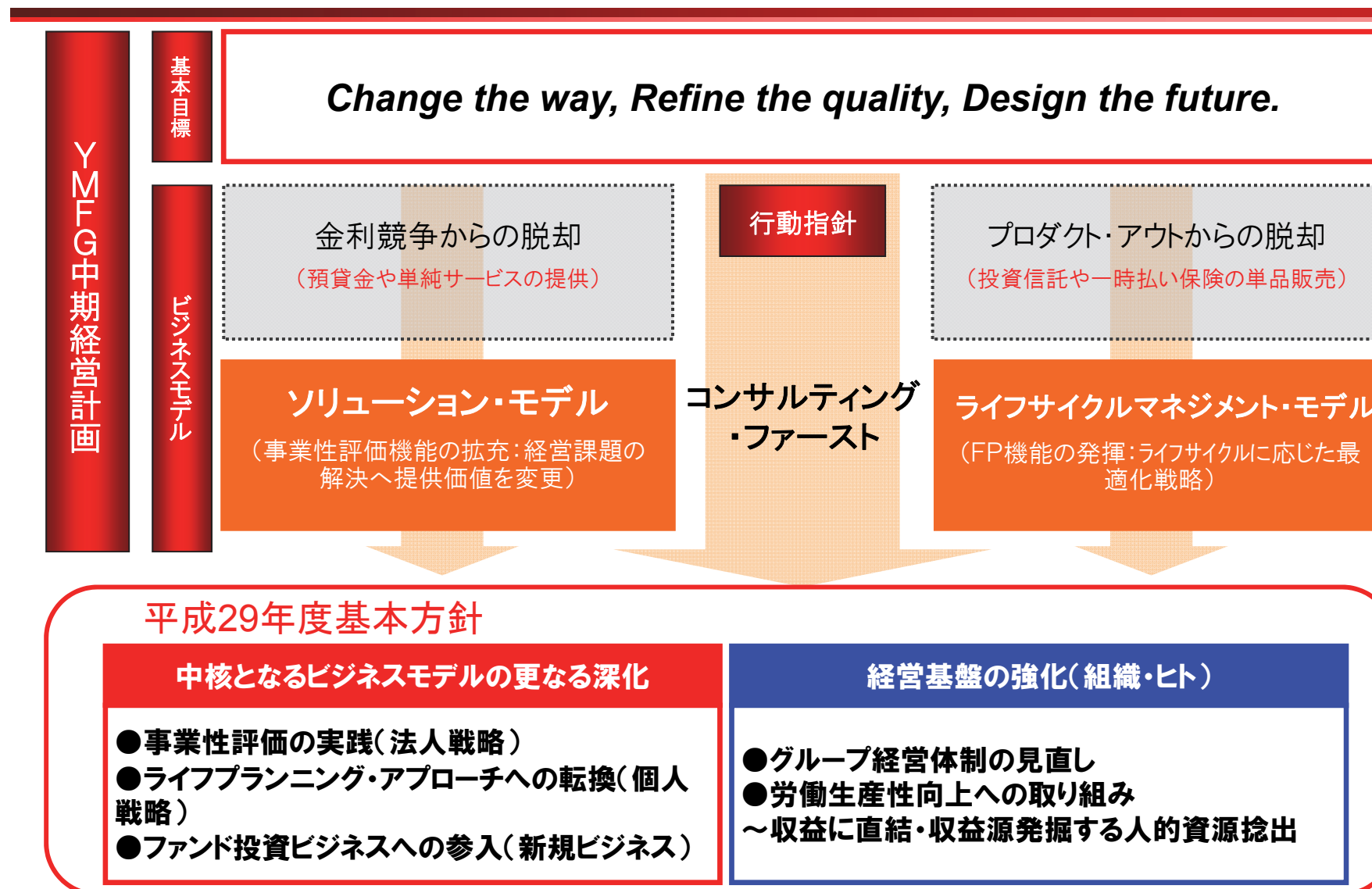
平成29年度決算見込み(3銀行)

- 山口銀行では増益、もみじ銀行、北九州銀行では減益決算見込み。
- 3行単純合算で、経常利益435億円、当期利益300億円を見込む。

	山口銀行			もみじ銀行			北九州銀行		
	平成28年度 (実績)	平成29年度 (計画)	前年比	平成28年度 (実績)	平成29年度 (計画)	前年比	平成28年度 (実績)	平成29年度 (計画)	前年比
コア業務粗利益	500億円	495億円	▲5億円	340億円	316億円	▲24億円	112億円	117億円	+5億円
コア業務純益	172億円	167億円	▲5億円	78億円	76億円	▲2億円	21億円	29億円	+8億円
経常利益	269億円	280億円	+11億円	157億円	125億円	▲32億円	32億円	30億円	▲2億円
当期純利益	185億円	195億円	+10億円	109億円	85億円	▲24億円	22億円	20億円	▲2億円
貸出金平残	35,051億円	36,440億円	+1,389億円	20,618億円	21,450億円	+832億円	9,929億円	10,790億円	+861億円
貸出金利回り	1.11%	1.08%	▲0.03%	1.18%	1.11%	▲0.07%	1.08%	1.02%	▲0.06%

今後の成長戦略について

YMFG中期経営計画および平成29年度基本方針



事業性評価の実践(平成29年度の目標値)

<p>ボリューム増加</p> <p>中小企業向け 貸出金期中平残</p> <p>前年度増加額※比 +500億円 ※約1,500億円</p>		+30億円	●医療介護専担者増員	医師会・医療コンサルタント等の外部ネットワーク構築 (現在、10億円の成約、約20億円の案件見込み)
		+75億円	●船舶融資の強化	商社とのリレーション強化による案件発掘
		+125億円	●エクイティ性資金の供給	取引先へのコンサルティングを通じ、資金調達手法の見直し、調達ポートフォリオ組み換え等 ⇒6月に擬似資本性ローン投入(対象市場約1,000億円)
		+135億円	●業種別専門チームの配置(10名投入)	需要が見込まれるエリアに業種別専門チーム配置 ⇒業種を特定した新規開拓・肩代わり支援 (現在、約60億円の案件見込み)
		+135億円	●対話力とソリューション提案力の強化	・一人1社運動を中心とした取引先との対話促進 ・定量、定性情報に基づいた、ソリューション提案の策定(事業性評価部による営業フォロー態勢強化)
<p>貸出金利息</p>		100億円投入	●法人小口かつ新規先(主に肩代わり)専用商品	・モデルランクと必要最低限の条件内で無担保にて融資 (5月より3行で取扱開始)
		前年比+2億円	●市場規模以上の貸出増加 ●対顧SPを低下させない	・当エリアでここ5年間の金融機関貸出3~4%伸び率に対し、5%伸長を目指す(上記中小企業向け+2,000億円含む)。 ・前年度の対顧スプレッドを維持する。
<p>役務収益増加</p> <p>有償ビジネスマッチング 手数料</p> <p>ワイエムコンサルティング売上高</p> <p>前年比+2億円</p>		前年比+3億円	●有償ビジマの拡大	ビジネスマッチング範囲の拡大 ストック型有償ビジネスマッチングの契約先拡大
		+1億円	●事業承継コンサルティング案件の増加	・行内蓄積データに基づくアプローチ ・事業承継専担者配置による案件発掘
		+1億円	●人事関連コンサルティング力の強化	専門チームによる営業域内の人材のミスマッチ等に着眼したコンサルティングの展開

事業性評価の実践(ビジネスプランナーの育成)

- 取引先の企業価値向上に貢献するビジネスプランナーを全社的に育成する。
- 一人1社運動を進め、お客様の成長の一部をリターンとして得るビジネスモデルを展開する。

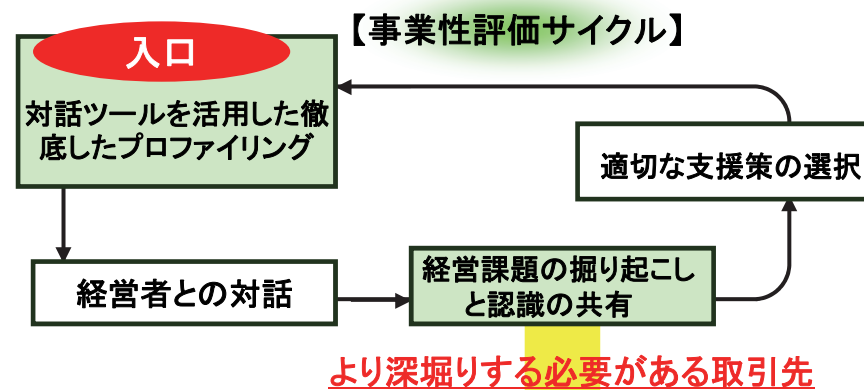
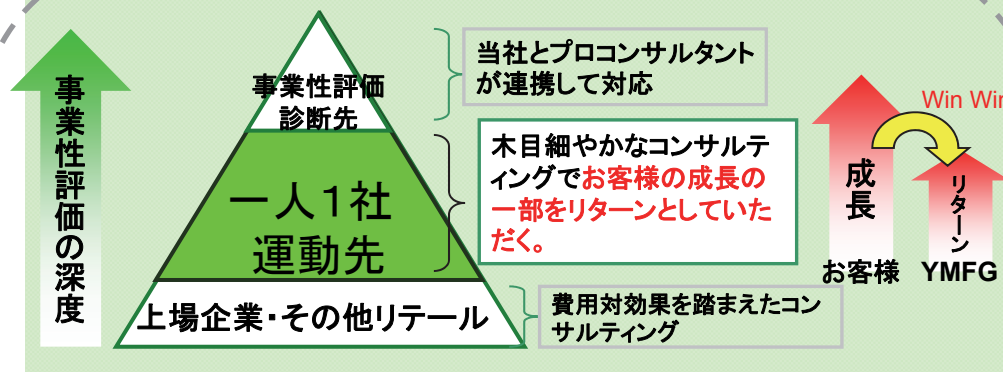
ビジネスプランナー※の育成

※取引先の事業・戦略・強みを十分に理解し、個人の能力、グループ組織力、外部ノウハウ等を駆使して、企業価値の向上に貢献できる人材。

社内経営スクール

- ・平成29年5月開講
- ・3行の支店長、事業性評価の一人1社運動を実施する得意先係は全員受講する。
- ・外部講師やグループワーク等で能力の底上げ、ノウハウの共有を図る。
- ・社内認定制度(予定)導入によるモチベーションアップを図る。

一人1社運動を3行で実施



- 一人1社運動先
3行で年間約2,100先実施(現在718先実施中)

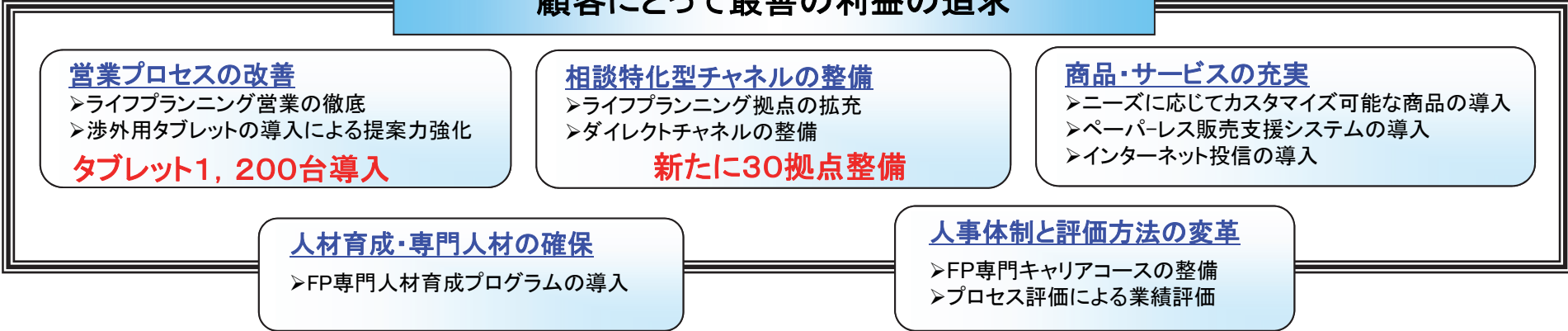
金融仲介機能の発揮に向けたベンチマーク(実績概要と計画)

		平成29/3(実績)	平成30/3(計画)
共通	事業性評価融資先数と融資額	※今年度より事業性評価先を一人1社運動先と定義	約2,100先に対し 融資額+10%(前年比)
	創業・第二創業の件数	1,937先	2,500先
	条件変更先の経営改善計画の進捗状況	不調先(計画有)264先	不調先(計画有)264先 のうち10%を順調先へ
選択	メイン取引先増加	142先	800先
	事業性評価、生産性向上に資する対話先数	2,936先	10,000先
	メイン先のうち経営改善提案を行っている先	787先	1,500先
	本業支援に関する 研修数・参加者数・資格取得者数	研修数6、参加者数125 資格取得者数97名	研修数7、参加者数1,000名 資格取得者数110名
	本業支援に関連する中小企業支援策を活用する先数	374先	500先
独自	広域営業地盤・海外拠点・グループを活用したソリューション提案件数	—	新規 2,000先

ライフプランニング・アプローチへの転換(個人戦略)

《基本方針》真に顧客本位の営業体制を構築し、地域のお客様のライフクオリティの向上を通じて地域経済の持続的な成長に貢献する。

顧客にとって最善の利益の追求



保険ひろば **保険ひろば+**

【商業施設内に立地し銀行接点の薄い層へアプローチ】

店舗網を拡充するとともに保険ひろば+の銀行代理業の特性を活かし、保険から派生したニーズを銀行で対応。

ワイエム証券

【富裕層向けアセットプランニング、法人営業の強化】

営業を増員し、幅広いリスク性商品(投信・株式・仕組債)の提案を可能とする態勢を強化。

グループ内クロスセル体制の構築

**商業施設内店舗
50店舗
来店誘致**

山口・もみじ・北九州銀行

【顧客基盤を活かしたグループ総合的でアプローチ】

銀行顧客データの活用、職域営業による顧客接点強化。

**銀行併設店を拠点に
訪問営業**

ライフプランニング・アプローチへの転換(個人戦略)

●FP専門人材を育成し多様な顧客ニーズに対応可能なチャネル整備を行うことで営業力強化を図る

FP専門人材の配置

	ファイナンシャルアドバイザー (FA)	ライフアドバイザー (LA)
人数	20名	300名
役割	<ul style="list-style-type: none">・投信、保険、ローンの知識を有し、地区の営業支援を行う・本部(リテール戦略部)と営業店との橋渡しの役割・地区担当者としてライフアドバイザーのOJTを通じた育成・職域セミナー講師	<ul style="list-style-type: none">・職域セミナー開拓・LPSを利用した顧客潜在ニーズの発掘・ライフプランニングを起点とした最適商品の提案

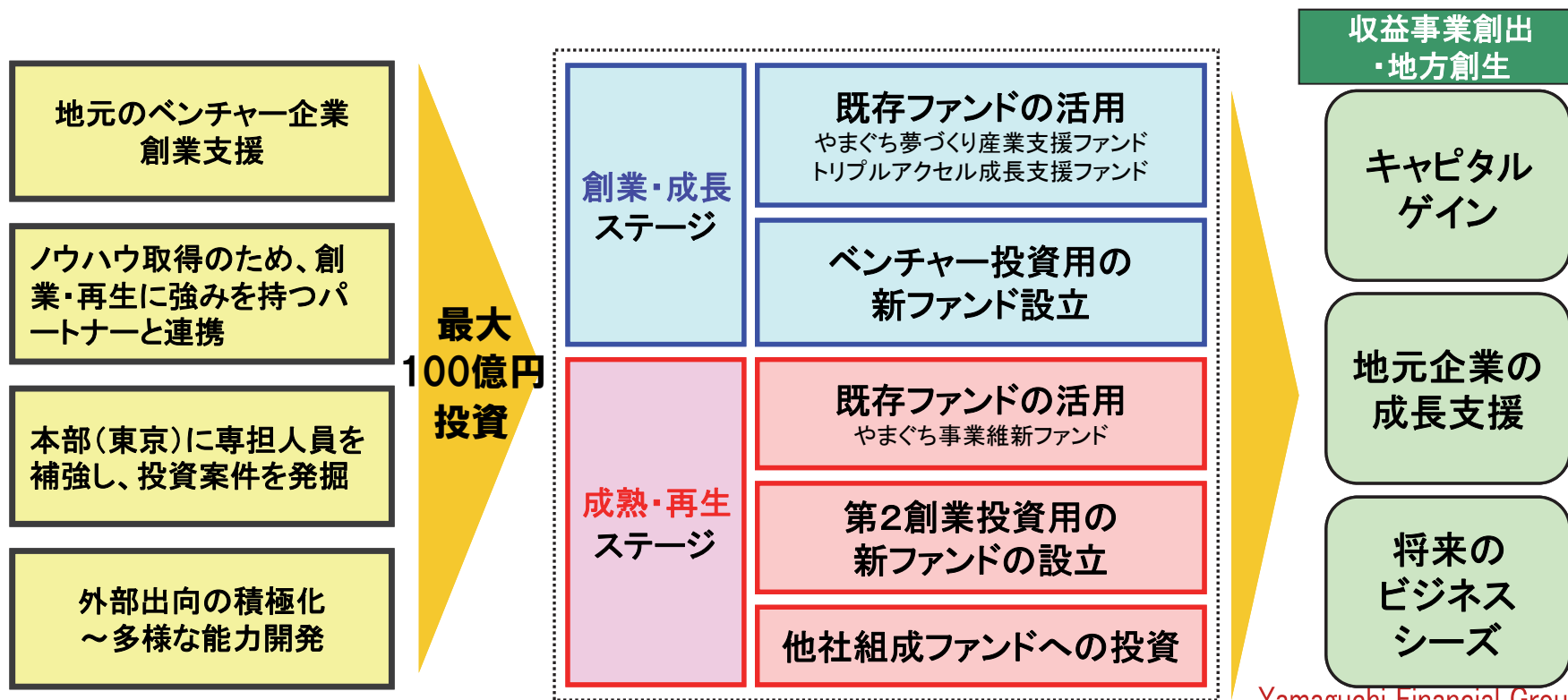
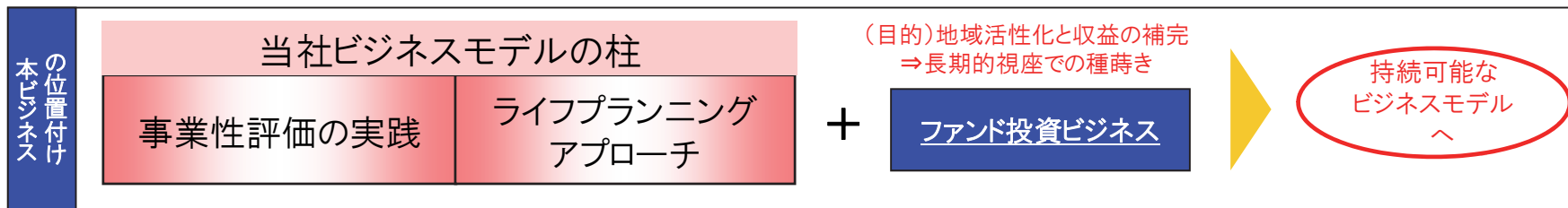
積立投資信託、NISA活用による資産形成支援

保障性保険を活用した必要保障額の確保

顧客数の増加

ファンド投資ビジネスへの参入

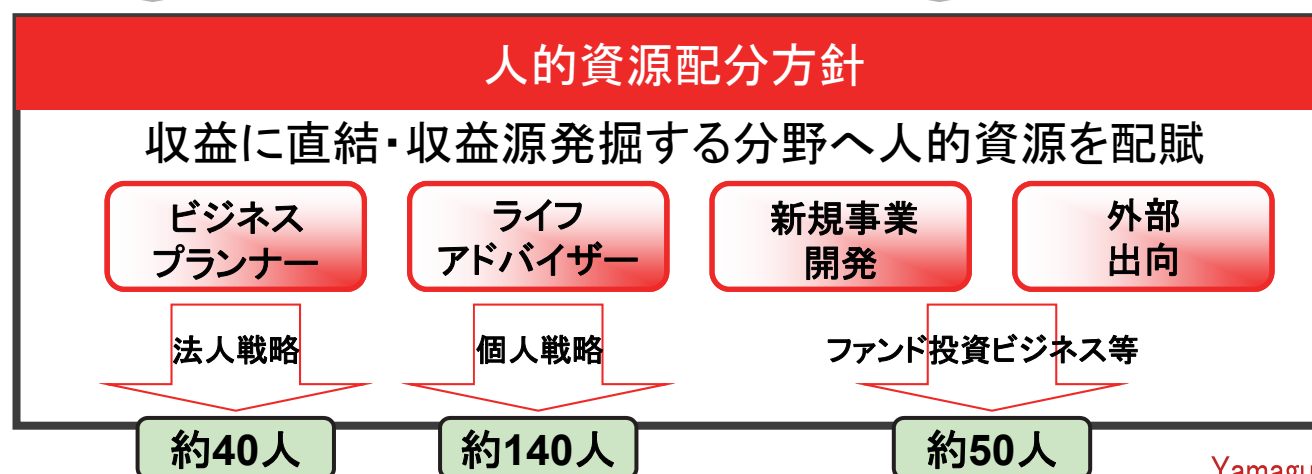
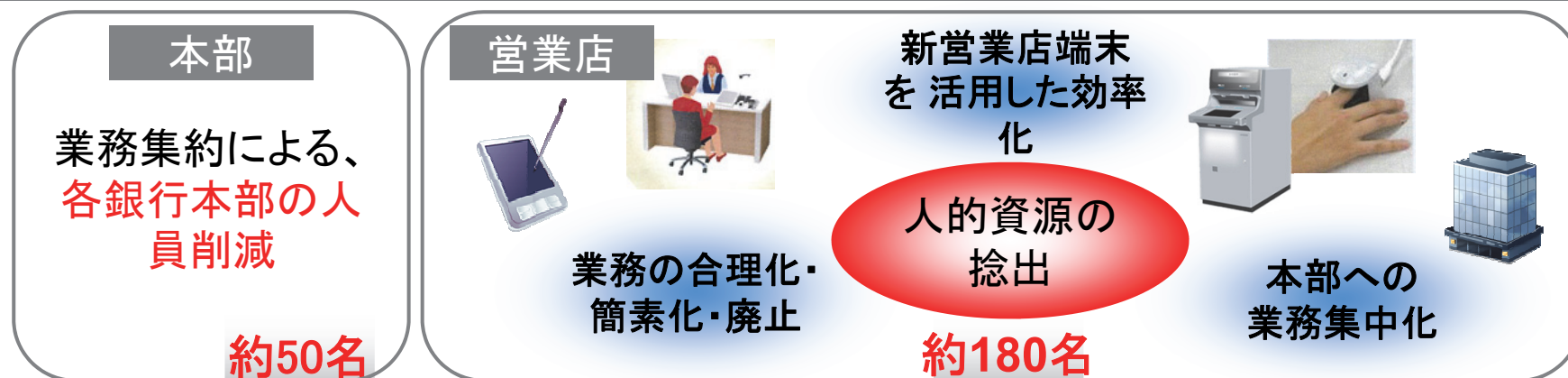
ファンド投資ビジネスへ参入し、企業のライフステージに応じたリスクマネー投入により収益源を多様化するとともに、将来のビジネスシーズを発掘する。



労働生産性の向上への取り組み ～収益に直結・収益源を発掘する人的資源の捻出

抜本的な事務効率化等により労働生産性を高め、人的資源を捻出。

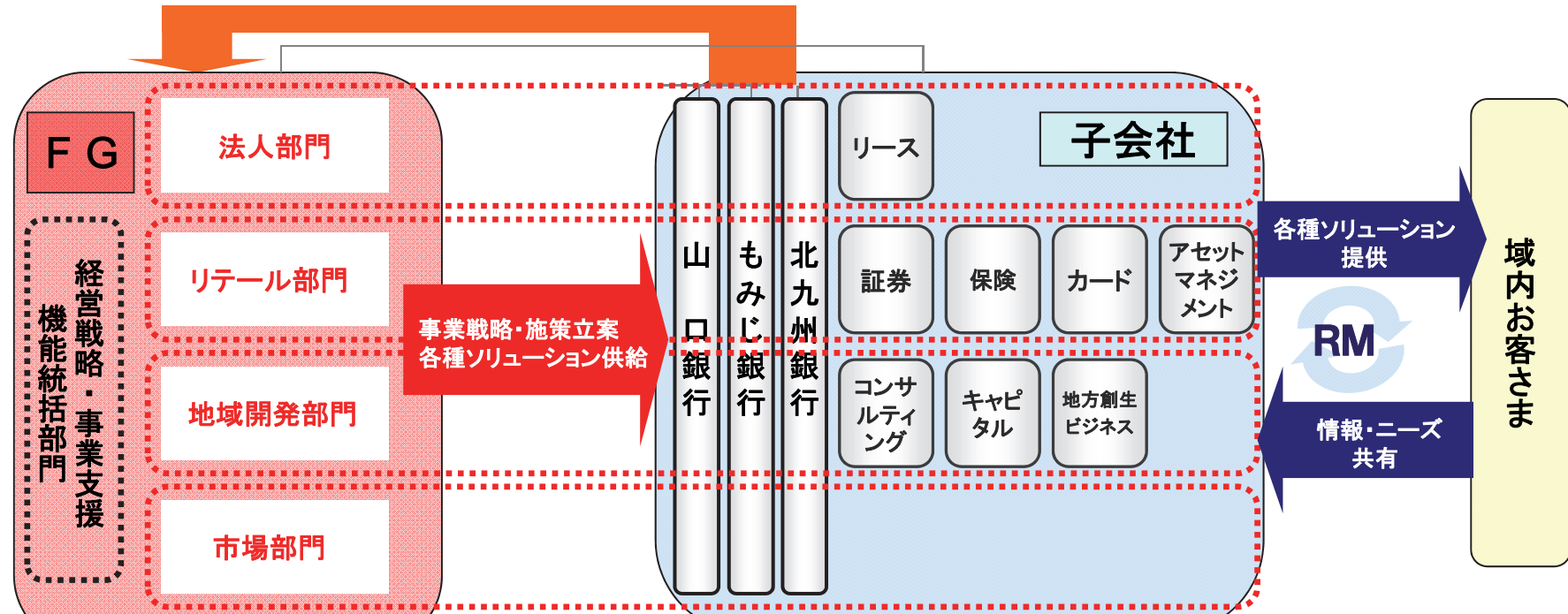
働き方改革(役員を含むプロジェクトチームにて推進中)



グループ経営体制の見直しについて

- ・FGが事業毎の戦略企画および収益責任を担う体制に移行し、グループ間で横串する。
- ・FG主導にてグループ横断的な収益拡大に向けたPDCAサイクルを回す。

銀行法改正を活用し、可能な限り銀行本部機能をFGへ集約することで、事業統括本部制の実効性を高める（当局認可を前提）。



事業戦略立案／収益責任部門

- ・部門毎に収益コントロール、経営資源配分を行う。
- ・部門長は子会社を最大限活用し、各部門毎の収益拡大を図る。

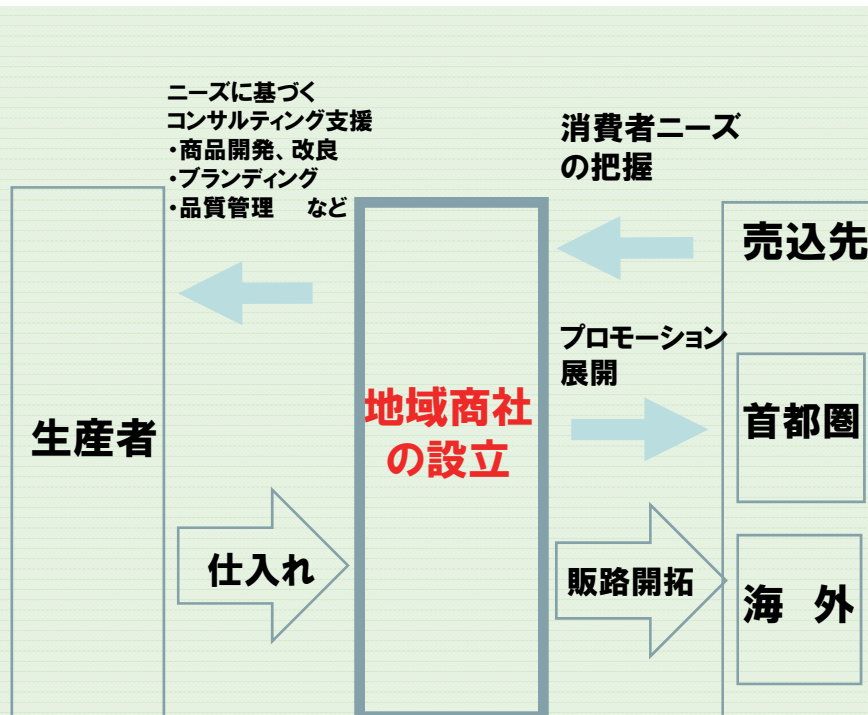
戦略執行部門

- ・銀行（営業店）は対顧RM（お客様とのリレーションシップ構築）にのみ注力する態勢へ。
- ・サービス提供のチャネルとして、情報収集やニーズ発掘、各部門から供給される各種ソリューションの提供に注力する。

地方創生に向けた取り組み(地域企業の成長支援)

地域商社機能を備えた新会社の設立

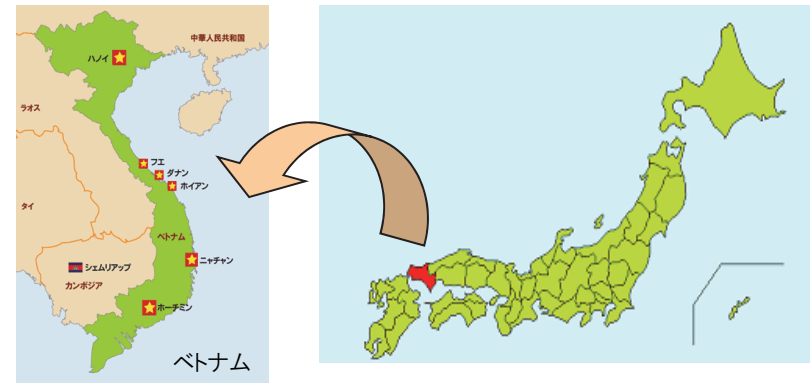
山口県産品(農林水産物、加工品、6次産品等)の生産者を支援する取り組みとして、県産品を首都圏を始めとした県外へ売り込むことを目的。



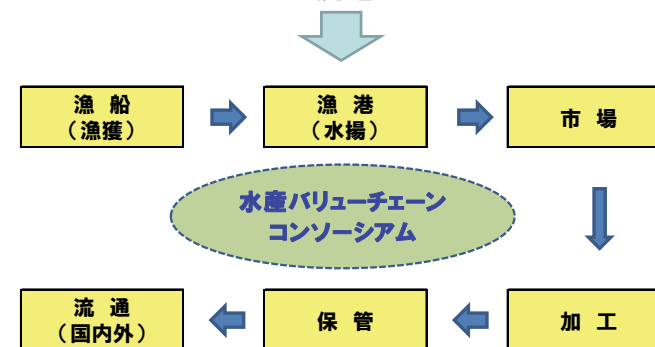
企業連携による海外展開支援

水産関連インフラ輸出構想の実現

地域企業の連携により各社の優れた鮮度管理技術をインフラシステムとして輸出する構想の実現



YMFGが連携をコーディネート



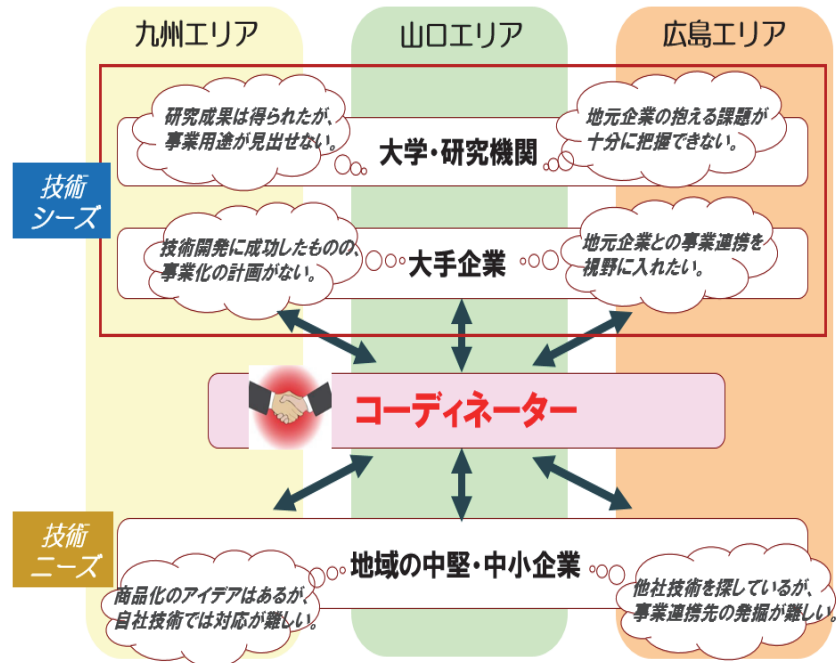
地方創生に向けた取り組み(新事業創出支援)

広域連携技術マッチング

平成28年度、知的財産事業化を目的とした、各種イベントを、大学、大手企業との連携により開催。平成29年度も同様のプロジェクトを実行する計画。

イベント	知財活用セミナー	知財事業化ワークショップ	広域マッチングフェア
目的	ニーズ発掘に向けた事業者の意識・意欲の醸成	事業化に向けたアイデア創出機会の設定	事業化に向けた広域なマッチング機会の設定
開催場所	3会場(広島・山口・北九州) 山口会場 : 7月15日(金) 北九州会場 : 7月29日(金) 広島会場 : 8月10日(木)	〔山口、広島、北九州〕 各2会場(計6回) ・北九州会場:11月16日、17日 ・広島会場 :11月21日、22日 ・山口会場 :11月24日、25日	1会場 下関海峡メッセ(下関市) 開催:平成29年3月22日
内容	・ YMFZエリアの中堅・中小企業を対象とし、意識醸成を目的としたセミナー開催 ・ 中小企業の知財戦略、知財活用により事業化に成功した事例の紹介などを、講演により展開	・ 技術シーズを題材にしたワークショップを全6会場で開催 ・ 大学研究者、事業者、銀行員など複数のチーム編成により実施	・ 大学や大手企業が有する技術シーズと、地元中堅・中小企業が有する技術シーズを、広域にマッチングさせる機会の創出 ・ シーズによるシーズ情報の発信 ・ コーディネーターによる個別相談会の開催

〈YMFZZONE連携プラットフォーム〉



RESASの活用促進

平成28年度、地域の自治体や民間企業、学校等へ地域経済分析システム(RESAS)の普及促進活動を展開。



事業化を想定した政策アイデアを募集

やまぐち★政策アイデアコンテスト エントリー大募集!!

募集期間:平成28年8月1日(月)～10月7日(金)

RESAS使ってみなで考えよう!
活力みなぎる山口県!!

高校生以下の部
大学生以上一般の部
それぞれ募集!

抽選結果:1月13日(日)13:00～16:00
〒750-0022 山口県山口市下中町1-1-1 山口県庁5階 政策推進課(TEL:083-921-1155)
〒750-0022 山口県山口市下中町1-1-1 YMFZZONE事務局

募集期間:平成28年8月1日(月)～10月7日(金)
応募内容: 概要書案 各部門ごとに3案
 研究費 各部門ごとに3案
 特別賞(総額20万円) 1名
 抽選の抽選: 抽選は公開で行われます
 抽選結果発表: 抽選結果発表会
 抽選結果発表会: 10月7日(金)13:00～16:00
 抽選結果発表会会場: 山口県庁5階 政策推進課
 抽選結果発表会参加費: 無料
 抽選結果発表会申し込み: <http://yamaguchi-resas.jp/>



新事業戦略(構想)

外部との提携も視野に入れ、機動的なリアルチャネルや、ネット・電話などのリモートチャネルを展開し、効果的・効率的に収益機会の拡大を図る。

YMFG ZONEに留まらない広域展開

収益規模 預り資産 700億円
ビジネスローン 75億円

リテール部門

ホールセール部門

資金決済プロセス

→決済代行、収納代行ビジネスの展開

非取引先オーナー層向け預り資産、
融資、相続・事業承継ビジネス

決済情報を活用したファイナンス

消費性ローン

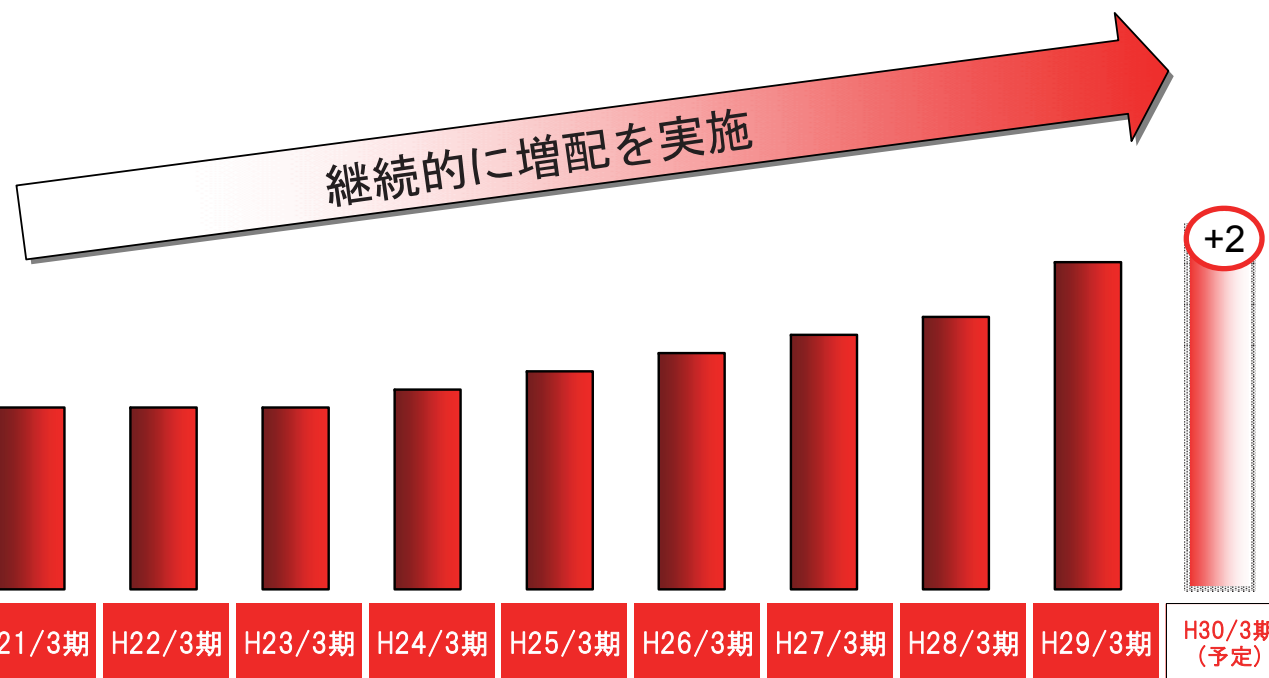
小規模事業者向けビジネスローン

法人向けリスクマネジメント

※収益規模は、貯蓄残高40百万円以上の世帯数約70万世帯、小規模事業者数約40万者をベースに当社にて推計。

配当について

- ・中長期的な安定配当を基本とした株主還元を実施していく。
- ・FG設立以来、継続的に増配を実施。平成30年3月期は2円増配を予定。



(円)	H21/3期	H22/3期	H23/3期	H24/3期	H25/3期	H26/3期	H27/3期	H28/3期	H29/3期	H30/3期 (予定)
1株当たり配当額(年間)①	10	10	10	11	12	13	14	15	18	20
年間配当額(億円)	26.32	26.32	26.19	28.98	31.61	33.62	34.94	36.83	44.59	

参考資料編

YMFG中期経営計画(FY28~30)の位置づけ

現状認識

<内部環境>

- ・預貸金収支の縮小
(収益構造として有価証券割合増)

<外部環境>

- ・人口減少、少子高齢化の進展
- ・貯蓄から投資の流れ
- ・相続、資産承継ニーズ増加

<組織>

- ・柔軟性、スピード感の重要性が増している

<人材>

- ・コンサルティング人材の不足
- ・専門人材の戦略的配置が不十分

YMFG中期経営計画

目指すべき姿

○地域を育み、ともに成長する金融グループ

~Road to “YMFG ZONE” ~

○圧倒的な品質でお客様の期待を超える金融グループ

~Amazing “YMFG Quality” ~

基本目標

Change the way, Refine the quality, Design the future.

(やり方を変えよう、質に磨きをかけよう、そして未来をデザインしよう)

○金利競争からの脱却

○プロダクト・アウトからの脱却

行動指針

コンサルティング・ファースト

~全てのお客様に対し、まずコンサルティングから入る。
(コンサルティング・ファースト)を徹底する。

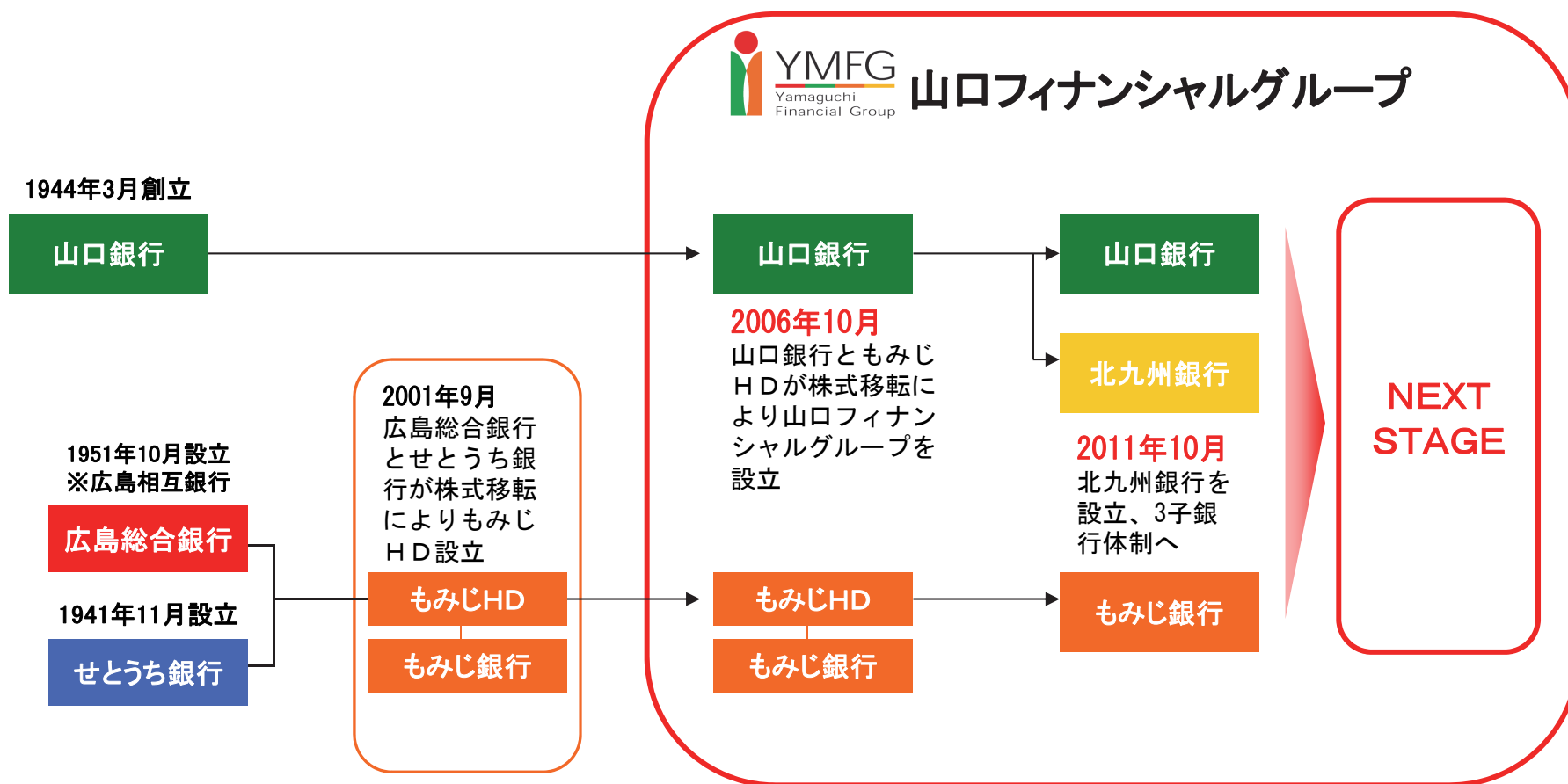
- ・市場環境に左右されにくい持続可能な成長モデルの確立

- ・地域の金融グループとして、地域の成長にコミットし地方創生に主導的役割

- ・高いコンサルティング意識と専門性を持った人材の育成と適切配置

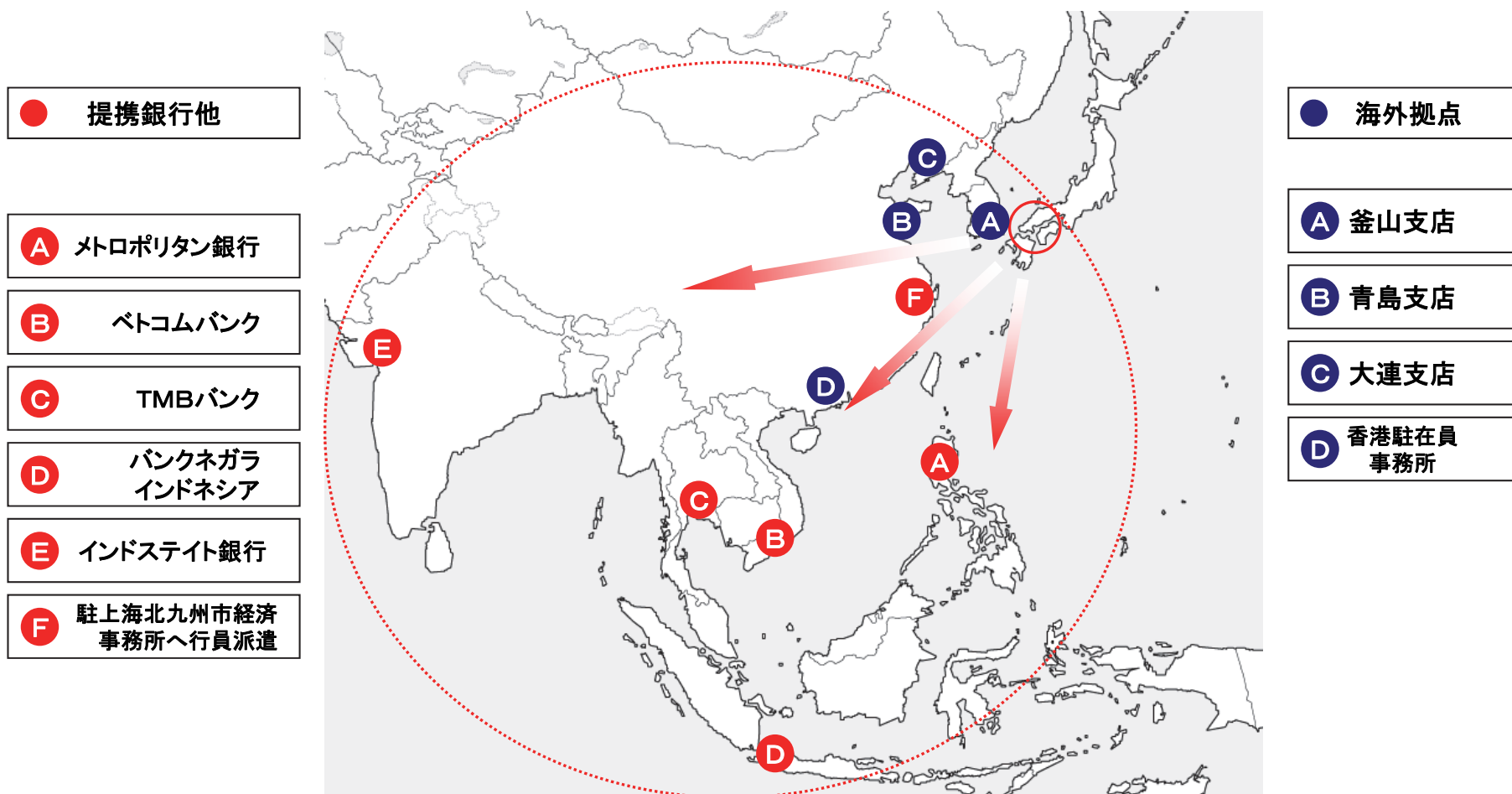
山口フィナンシャルグループの沿革

- ▶ 2006年10月に、山口フィナンシャルグループ設立（山口銀行・もみじHDが共同株式移転）
- ▶ 2011年10月に、北九州銀行設立（山口銀行の九州域内における事業を吸収分割方式にて承継）



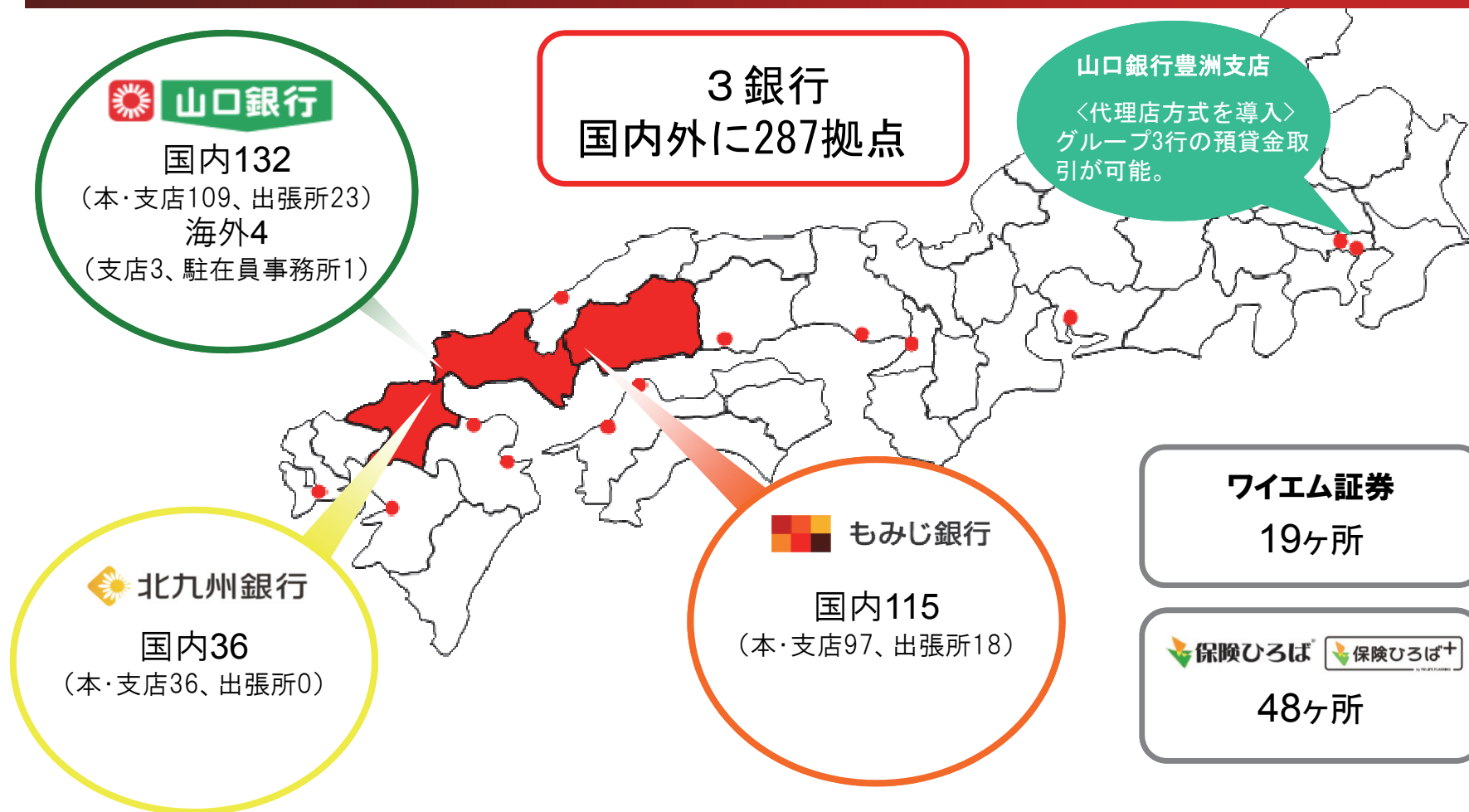
広域なYMFGネットワーク

- ▶ 1973年韓国釜山へ邦銀初の出店(以降、中国大連・青島へも出店)⇒アジア出店の長い歴史(40余年)
- ▶ アジアの外銀との提携戦略により、取引先のアジア進出のサポートを実践



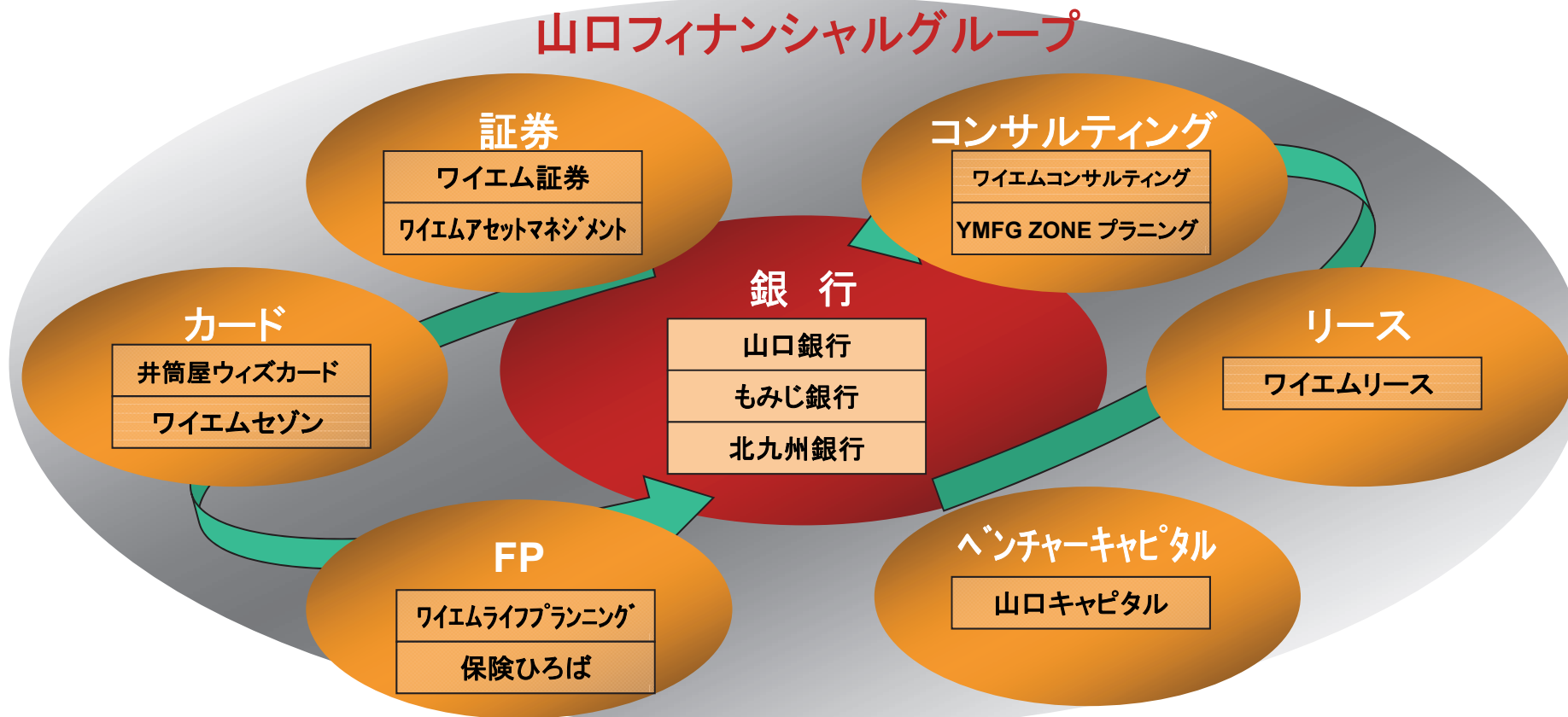
国内店舗チャンネル

- ◆グループ3銀行で国内283拠点、海外4拠点（2017年3月末現在）
- ◆その他、ワイエム証券19拠点、保険ひろば（+含む）48拠点



主要グループ会社および事業セグメント

山口フィナンシャルグループは金融コングロマリット化を進め、各事業の専門性を強化



各事業が融合・連携しながら総合サービスを提供

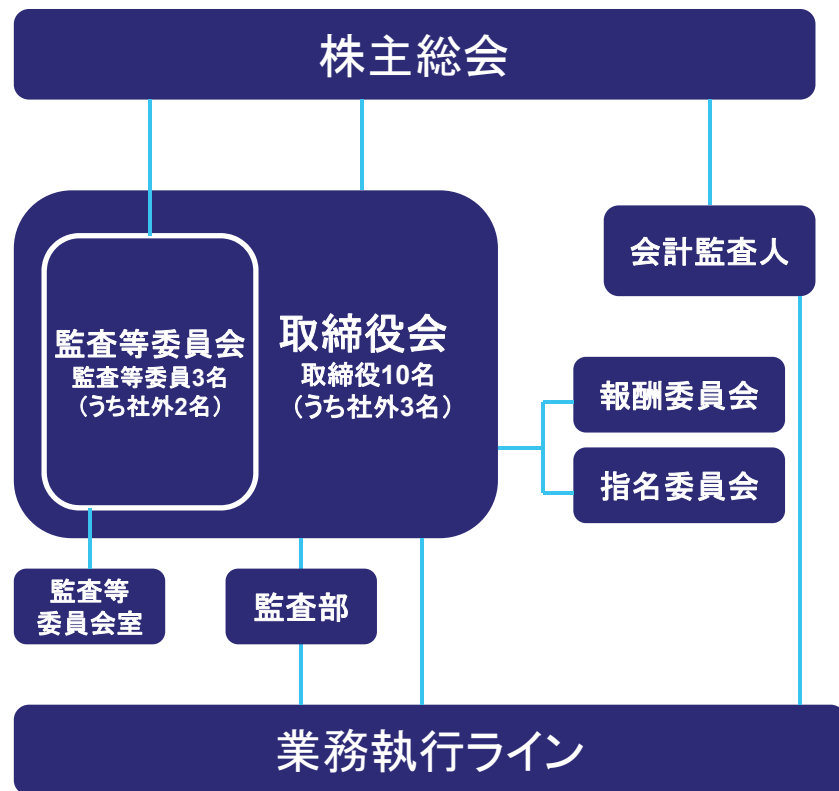
コンサルティング・ファースト

Yamaguchi Financial Group

ガバナンス体制およびIR活動

あらゆるステークホルダーを重視し、ガバナンス強化およびIR活動を実践しています。

コーポレートガバナンス体制



国内外におけるIR活動の実践

国内機関投資家様向けIR活動

- 年2回のラージプレゼンテーション
- ワンオンワンミーティング（年間数十社）
- 個別投資家様からのヒアリング・ミーティング

個人投資家様向けIR

- 東京にて平成28年9月に実施

海外機関投資家様向けIR活動

時期	場所
AUG.2013	Singapore
SEP.2014	London,Edinbrgh,Geneba,Zurich
SEP.2015	Tokyo
NOV.2015	London,Edinbrgh
SEP.2016	Tokyo

…引き続き海外および国内における海外機関投資家向けIRを検討。

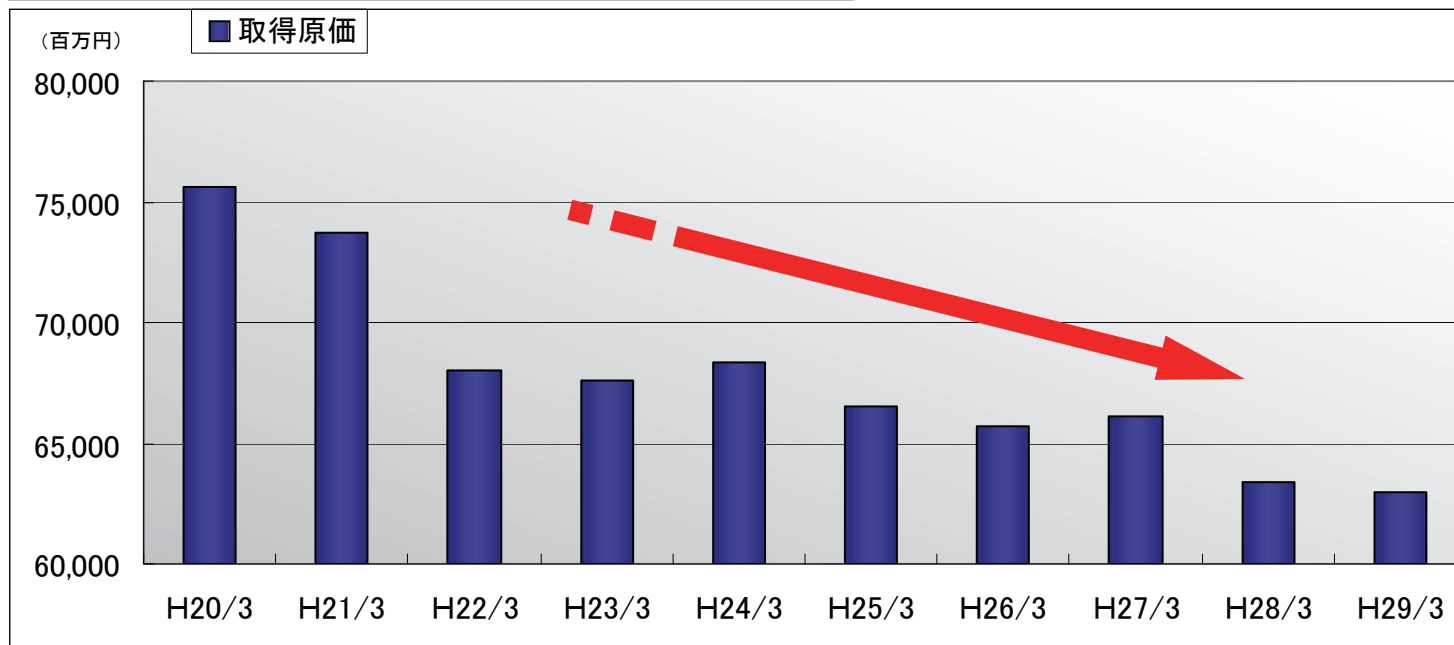
政策投資株式について

政策保有に関する方針(原則1-4)

当社は以下の方針に基づき、上場株式の政策保有を決定しております。

- ・政策投資株式については、当社グループ及び政策投資先双方の中長期的な企業価値の向上に資するか否かといった観点などから総合的に保有の是非を判断し、保有の合理性が認められる場合を除いて保有しません。
- ・保有する政策投資株式および政策投資先との取引のリスクとリターンを定期的に検証し、当該政策投資先との取引関係なども含めた総合的な見地から政策保有の是非を判断します。

政策投資株式の残高推移(取得原価(簿価))

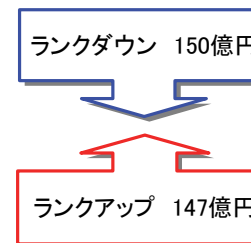


債務者区分の遷移状況(平成28年9月末⇒平成29年3月末)

(1) 山口銀行

(億円)

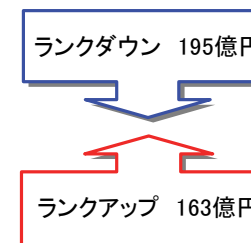
			29年3月末						その他	
			正常先	要注意先		破綻 懸念先	実質 破綻先	破綻先		
				その他	要管理先					
28 年 9 月 末	正常先	27,037	26,526	111	0	0	-	-	399	
	要注意先	その他	3,255	122	3,055	25	2	1	0	47
		要管理先	72	12	2	50	3	2	-	0
	破綻懸念先	229	-	8	0	213	0	0	5	
	実質破綻先	88	-	-	-	-	75	2	10	
	破綻先	66	-	-	-	-	-	60	5	



(2) もみじ銀行

(億円)

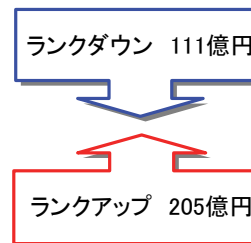
			29年3月末						その他	
			正常先	要注意先		破綻 懸念先	実質 破綻先	破綻先		
				その他	要管理先					
28 年 9 月 末	正常先	13,002	12,656	173	0	0	1	-	171	
	要注意先	その他	2,979	160	2,741	8	4	2	0	60
		要管理先	15	-	2	12	-	0	-	0
	破綻懸念先	155	-	1	-	147	0	2	4	
	実質破綻先	103	-	0	-	-	51	0	50	
	破綻先	60	-	-	-	-	-	51	9	



(3) 北九州銀行

(億円)

			29年3月末						その他	
			正常先	要注意先		破綻 懸念先	実質 破綻先	破綻先		
				その他	要管理先					
28 年 9 月 末	正常先	6,415	6,224	89	-	3	0	-	98	
	要注意先	その他	2,565	200	2,316	2	13	0	-	32
		要管理先	16	-	2	10	0	0	0	2
	破綻懸念先	65	-	1	-	61	0	0	0	
	実質破綻先	27	-	-	-	-	23	0	4	
	破綻先	50	-	-	-	-	-	23	26	



債務者区分の遷移状況(平成28年3月末⇒平成29年3月末)

(1) 山口銀行

(億円)

			29年3月末						その他	
			正常先	要注意先		破綻 懸念先	実質 破綻先	破綻先		
				その他	要管理先					
28 年 3 月 末	正常先	25,921	25,078	451	0	0	-	-	391	
	要注意先	その他	4,069	1,037	2,885	30	5	2	2	105
		要管理先	103	17	20	50	2	2	0	10
	破綻懸念先	252	-	19	0	214	7	2	8	
	実質破綻先	89	-	-	-	-	70	6	12	
	破綻先	61	-	0	-	-	-	53	7	

ランクダウン 515億円

ランクアップ 1,094億円

(2) もみじ銀行

(億円)

			29年3月末						その他	
			正常先	要注意先		破綻 懸念先	実質 破綻先	破綻先		
				その他	要管理先					
28 年 3 月 末	正常先	12,809	12,043	421	0	0	1	-	342	
	要注意先	その他	3,096	507	2,396	10	43	4	3	130
		要管理先	17	-	2	11	-	0	-	4
	破綻懸念先	137	0	4	-	113	8	1	9	
	実質破綻先	94	-	0	-	-	44	0	48	
	破綻先	60	-	-	-	-	-	50	10	

ランクダウン 496億円

ランクアップ 514億円

(3) 北九州銀行

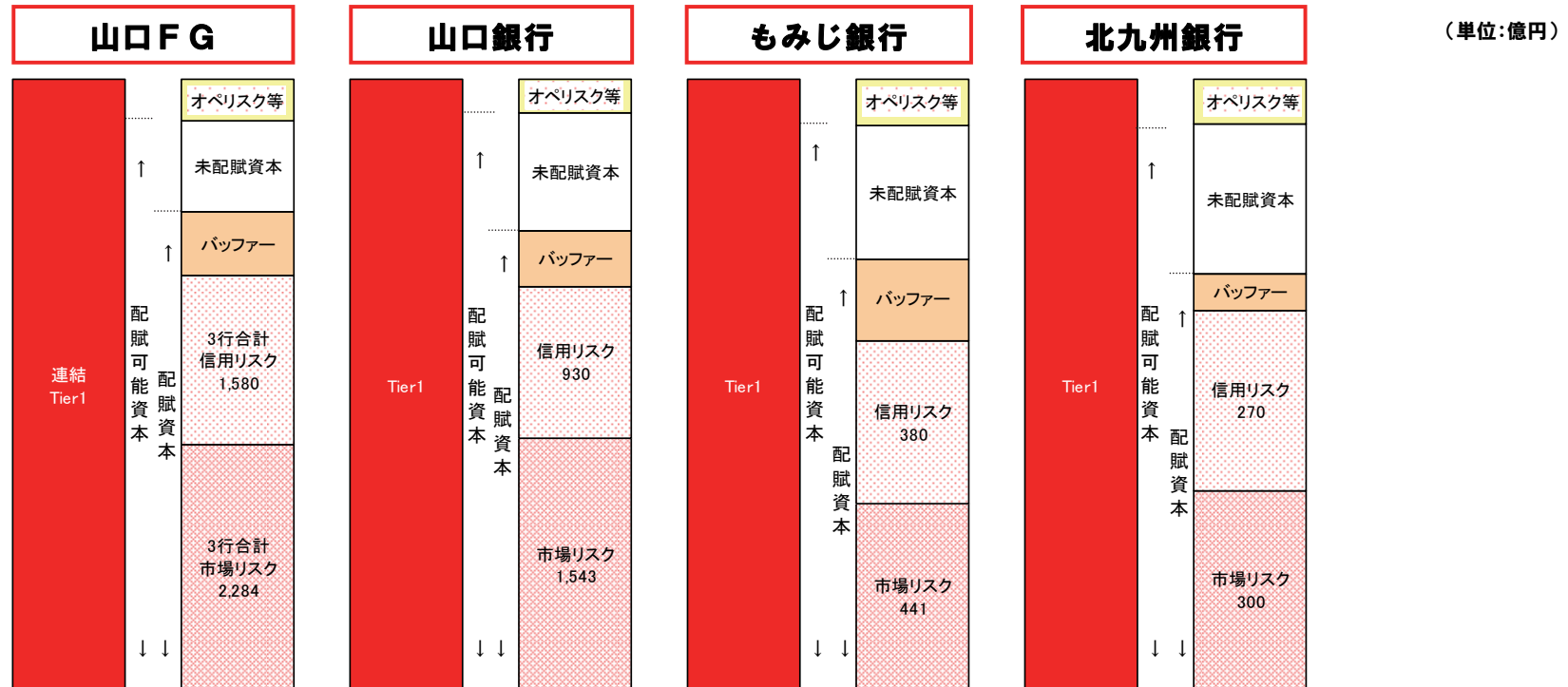
(億円)

			29年3月末						その他	
			正常先	要注意先		破綻 懸念先	実質 破綻先	破綻先		
				その他	要管理先					
28 年 3 月 末	正常先	5,717	5,363	206	0	3	0	0	143	
	要注意先	その他	2,796	672	2,038	8	15	0	0	59
		要管理先	24	-	18	4	0	0	-	1
	破綻懸念先	80	-	5	-	61	4	0	9	
	実質破綻先	24	-	-	-	-	19	0	4	
	破綻先	54	-	-	-	-	-	23	30	

ランクダウン 241億円

ランクアップ 696億円

リスク資本配賦



		山口銀行	もみじ銀行	北九州銀行	3行合計
信用リスク	リスク量('17/3末)	575	245	168	988
	資本配賦額	930	380	270	1,580
	使用率	61.8%	64.5%	62.2%	
市場リスク	リスク量('17/3末)	807	251	172	1,230
	資本配賦額	1,543	441	300	2,284
	使用率	52.3%	56.9%	57.3%	

・FG連結Tier1を配賦原資とし、計画に沿って各行へ配賦する。

・Tier1 : 普通株式等Tier1+その他Tier1
(グループ全体を統一的に管理するために、山口FG、および各銀行とも国際統一基準に基づきTier1を算出)

・バッファー : 想定以上の環境変化や計量できないリスクへの備え等

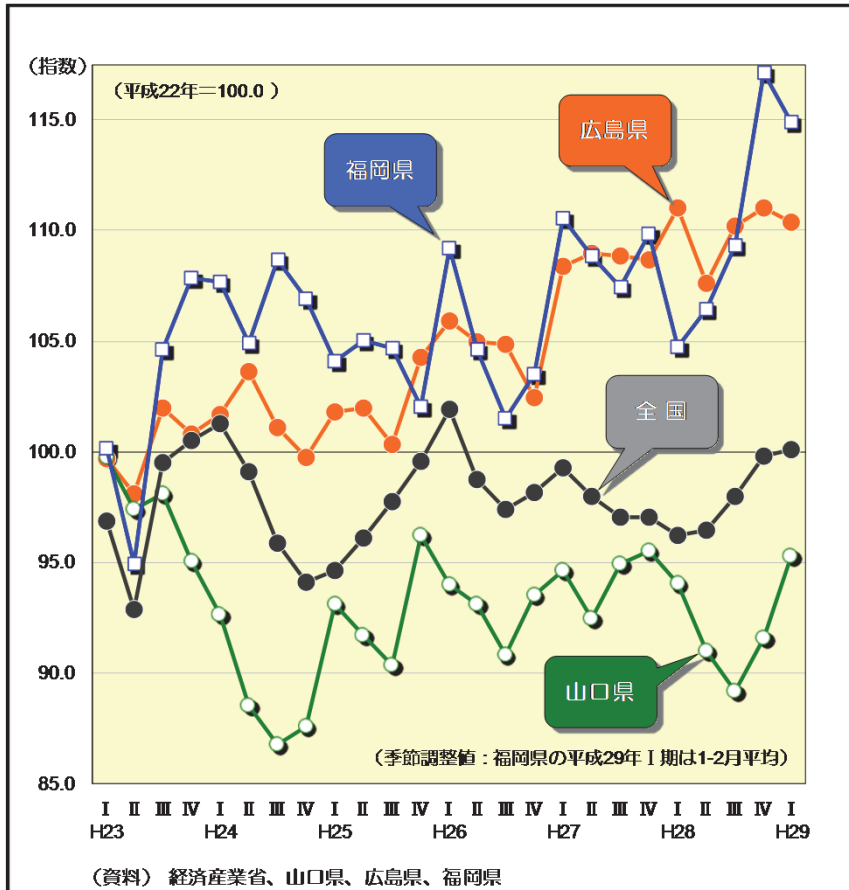
地区別経済概況

	北九州市 ～北九州地区の経済は 緩やかに回復している～	山口県 ～景気は緩やかに回復している～	広島県 ～景気は緩やかに回復している～
生産	海外向け自動車を中心に増加している。	自動車の生産が足元で持ち直し、化学や窯業・土石等の主要品目の稼働率が高めを維持するなど、生産活動全体で見ると底堅く推移している。	自動車が高操業を維持し、鉄鋼が高めの生産水準となっている一方、造船や電気機械の一部で弱めの動きがみられるなど、全体では横這い圏内で推移している。
設備投資	非製造業を中心に、幾分弱含んでいる。日本銀行北九州支店管内「短観」調査では、2016年度の設備投資額(計画)は、前年度に比べ製造業が11.0%増加、非製造業が24.5%減少し、全体では7.5%の減少となっている。	平成28年度の設備投資計画額(山口経済研究所調べ)は、大手化学や自動車メーカー等において能力増強投資等が実施され、全体でも前年度比4.6%増加と2年ぶりに前年度を上回る計画となっている。	平成28年度の設備投資計画額(日銀広島支店調べ)は、大企業・製造業の投資額が大幅に増加することを主因に、全体でも同10.4%増加と4年連続で前年度を上回る計画となっている。
輸出	足もと前年を下回っている。2016年上期の北九州港の輸出額は、前年同期比で18.0%減少した。	今年7-9月期の輸出額は前年同期比13.0%減少と4四半期連続の前年割れとなった。徳山港のアジア向け有機化合物や鉄鋼、防府港の米国や西欧向けを中心とする自動車等が減少している。	鉄鋼の輸出が前年割れを続けるなど、全体でも弱めの動きとなっている。
個人消費	天候要因を背景に秋物商材が低調に推移するなど、持ち直しの動きが足踏みしている。	百貨店・スーパー販売では衣料品販売の不振が続いているものの、今年7-9月期に乗用車新車販売台数が前年を上回るなど、一部に明るさがみられる。	百貨店販売額がセール効果で下支えされているほか、乗用車新車販売台数は普通車や小型車が持ち直しており、家電量販店販売額も比較的好調に推移するなど、全体でも底堅い推移となっている。
公共工事	下げ止まっている。2016年7月～9月期の公共工事請負額は前年同期比で4.0%増加した。	平成28年度累計(4-9月)の公共工事請負金額は、前年同期比4.4%減少となっている。県からの発注が増加した一方、前年に岩国飛行場関連の大型工事が集中した反動もあって、国からの発注が減少したほか、市町も減少を続けた。	平成28年度累計(4-9月)の公共工事請負金額は、前年同期比9.7%減少と減少傾向が続いている。
住宅建築	堅調に推移している。2016年度上期の北九州市の新設住宅着工戸数は前年同期比で2.4%増加した。	今年7-9月期の新設住宅着工戸数は、前年同期比20.5%増加となった。分譲マンションの着工が落ち込んでいるものの、持家の着工が前年を1割超上回り、貸家の着工も4年ぶりの高水準となった。	今年7-9月期の新設住宅着工戸数は、前年同期比23.1%増加と4四半期連続で前年を上回った。持家、貸家、分譲がいずれも前年を上回る水準で、緩やかな増加傾向となっている。
雇用情勢	引き続き改善しており、2016年9月の有効求人倍率は1.27倍となっている。	今年7-9月期の有効求人倍率は1.40倍と24年ぶりの1.4倍台となったほか、実質賃金が前年を上回る水準で推移するなど、全体でも改善傾向となっている。	今年7-9月期の有効求人倍率は1.65倍で平成4年1-3月期以来24年ぶりの高水準となったほか、現金給与総額(事業所規模30人以上)も前年を上回る水準で推移するなど、全体でも改善傾向にある。
企業倒産	2016年度上期の企業倒産(負債総額100万円以上)は、件数、負債額ともに前年同期を下回った。	平成28年度累計(4-9月)の倒産件数、負債総額がいずれも前年を上回った。負債額10億円以上の大型倒産が1件発生したものの、件数は過去10年間で昨年に次ぐ低水準となっている。	平成28年度累計(4-9月)の倒産件数、負債総額ともに前年を下回った。件数、負債総額ともに過去10年間で最も少なく、倒産は沈静化した状況が続いている。

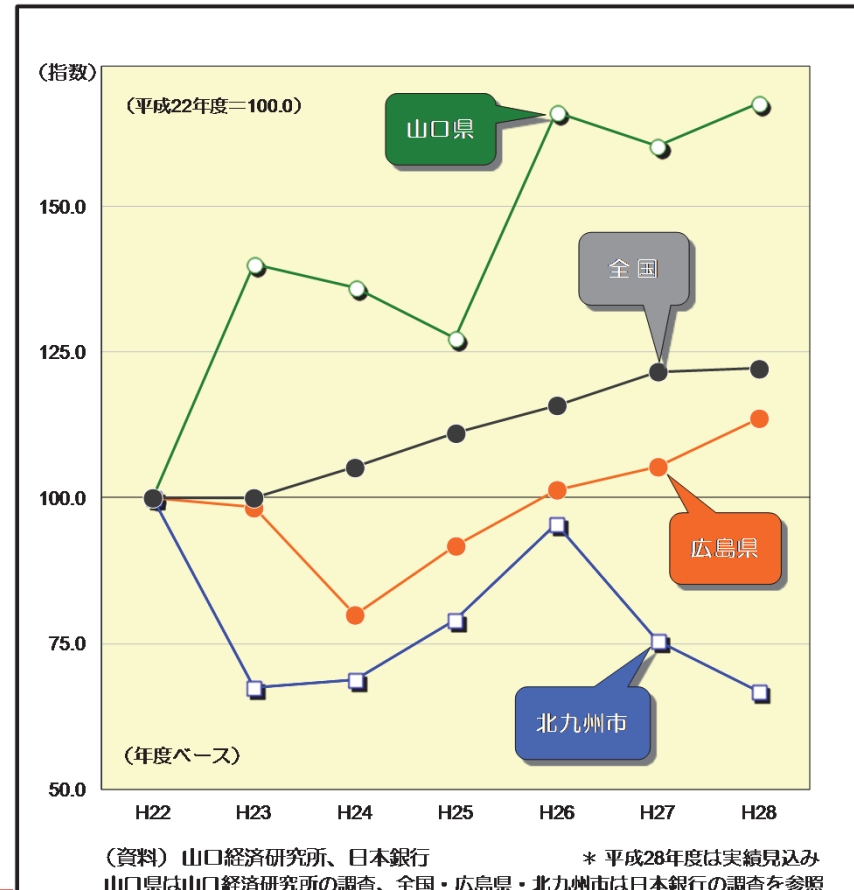
地域経済概況(鉱工業生産・設備投資)

- ◆ 鉱工業生産指数: 化学等の生産が高水準で推移するなど、全体でも堅調に推移
- ◆ 設備投資計画額(平成28年度): 山口県(前年度比+3.9%)が2年ぶりのプラス、広島県(同+7.9%)も4年連続のプラス。一方、北九州市(同▲11.3%)は2年連続のマイナス。

鉱工業生産指数の推移



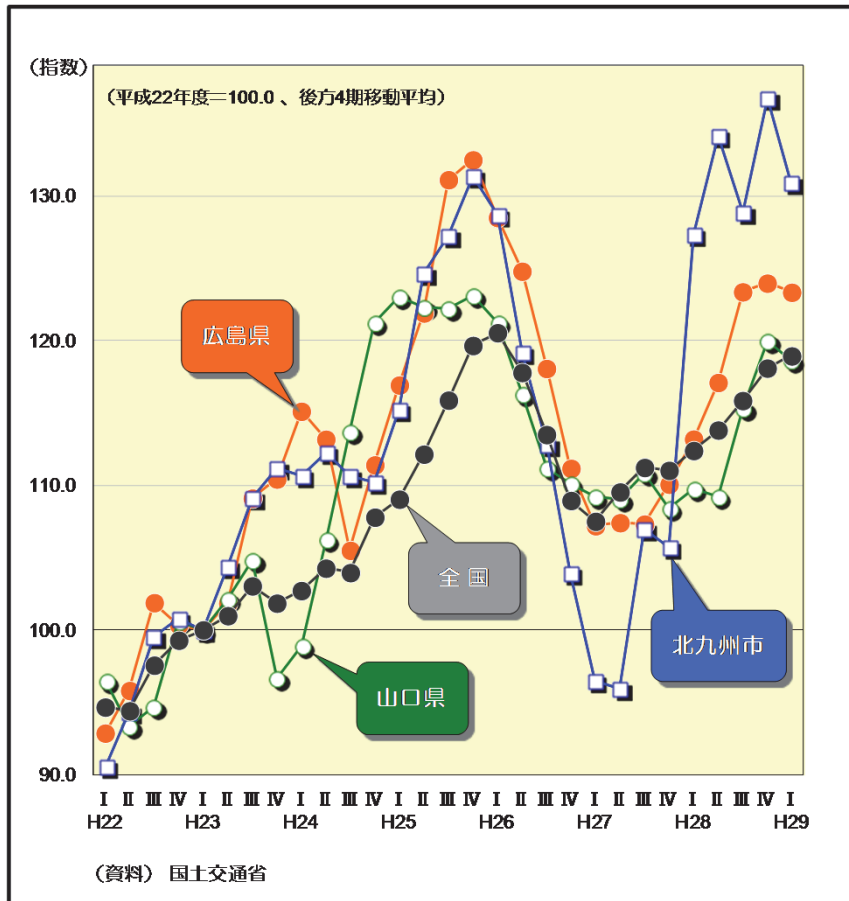
設備投資額の推移



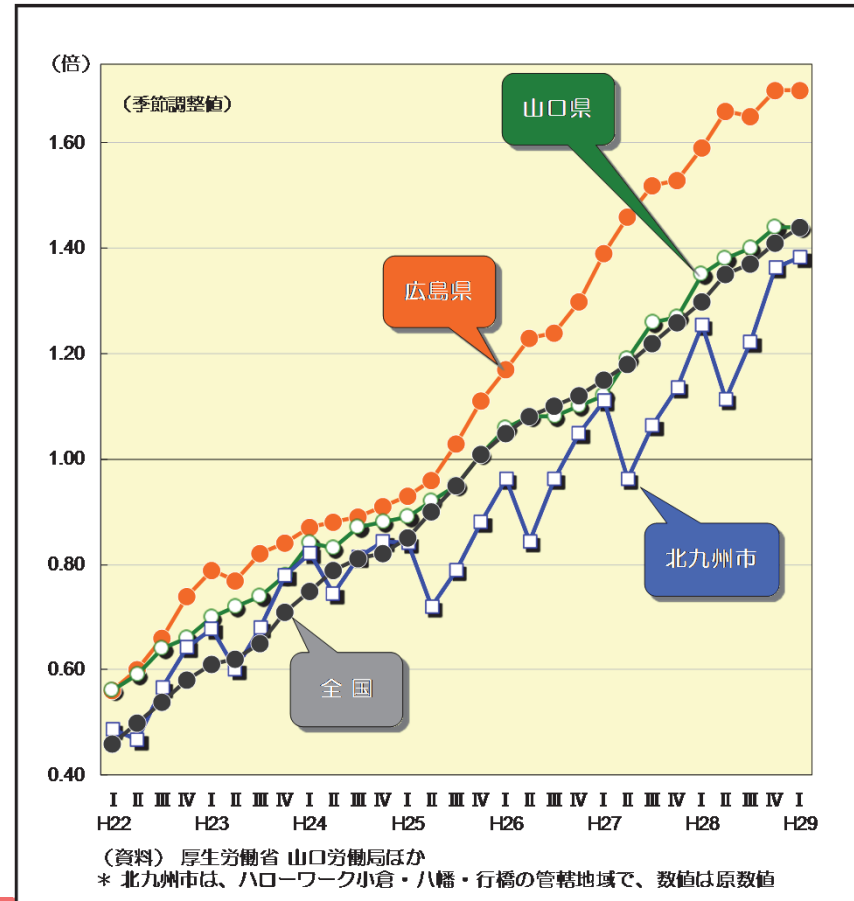
地域経済概況(住宅建築・雇用情勢)

- ◆住宅着工戸数:平成28年度の着工戸数は前年度を上回る水準
- ◆雇用情勢:有効求人倍率が25年ぶりの高水準となるなど、労働需給は逼迫

新設住宅着工戸数の推移

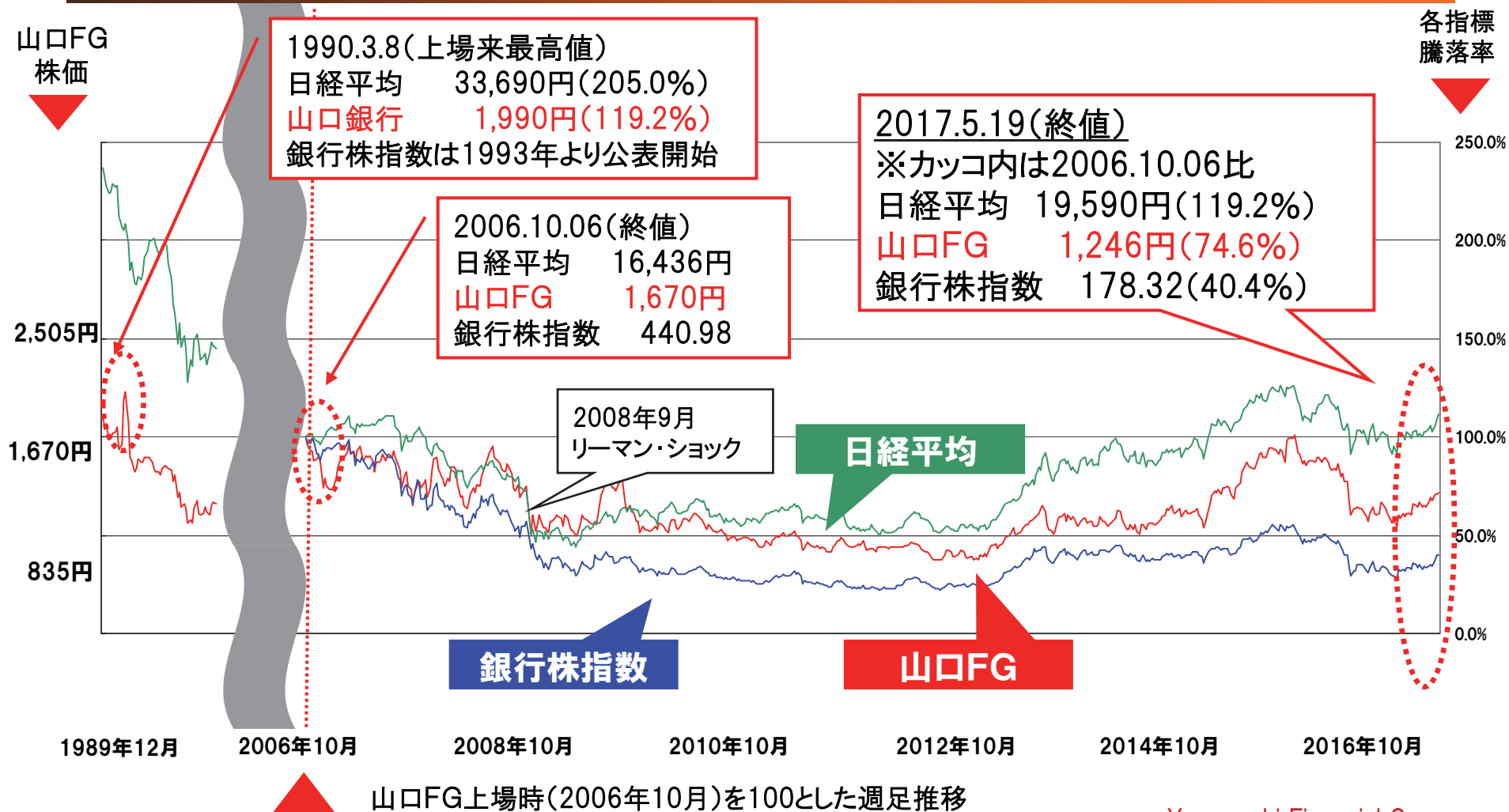


有効求人倍率の推移



株価推移

- 2006年10月に上場して以降、2007年頃からは銀行株指数を上回って推移。
- 平成29年5月19日時点の山口FG株価は1,246円(山口FG上場時比74.6%)。



業績推移(1)FG連結・3行合算

FG連結

(億円)

	25/3期 (通期)	25/9期 (半期)	26/3期 (通期)	26/9期 (半期)	27/3期 (通期)	27/9期 (半期)	28/3期 (通期)	28/9期 (半期)	29/3期 (通期)	前年同期比
コア業務粗利益	1,185	579	1,138	555	1,148	542	1,035	498	1,040	5
コア業務純益	319	150	286	130	314	148	251	99	283	32
経常利益	438	253	498	210	473	259	497	251	467	△ 30
当期利益	272	158	312	134	305	174	322	169	315	△ 7
ROE	5.52%	6.11%	6.04%	5.06%	5.61%	6.09%	5.62%	5.81%	5.31%	△ 0.31%
総資産	93,272	93,143	96,350	97,383	101,951	100,329	104,380	101,666	102,257	△ 2,123
BIS比率	13.34%	12.62%	12.69%	13.21%	13.43%	12.94%	13.37%	13.52%	13.91%	0.54%

3行合算

(億円)

	25/3期 (通期)	25/9期 (半期)	26/3期 (通期)	26/9期 (半期)	27/3期 (通期)	27/9期 (半期)	28/3期 (通期)	28/9期 (半期)	29/3期 (通期)	前年同期比
コア業務粗利益	1,128	544	1,073	527	1,087	518	976	463	953	△ 23
資金利益	945	477	949	473	974	478	925	436	891	△ 34
役務取引等利益	104	63	123	60	125	62	118	57	118	0
経費	786	385	768	383	750	350	692	354	680	△ 12
人件費	359	174	346	166	329	162	323	164	310	△ 13
物件費	389	191	385	194	380	164	326	163	323	△ 3
コア業務純益	341	158	304	143	336	168	283	109	272	△ 11
経常利益	457	250	500	225	497	282	533	262	459	△ 74
当期利益	304	163	330	155	321	204	370	183	317	△ 53
与信関係費用	1	△ 38	△ 69	△ 27	△ 41	△ 14	△ 35	△ 27	△ 19	16

※記載金額の単位未満は切捨て表示

業績推移(2) 各行単体

各行単体		(億円)									
		25/3期 (通期)	25/9期 (半期)	26/3期 (通期)	26/9期 (半期)	27/3期 (通期)	27/9期 (半期)	28/3期 (通期)	28/9期 (半期)	29/3期 (通期)	前年同期比
山口銀行	コア業務粗利益	579	291	577	289	594	276	507	241	500	△ 7
	資金利益	511	252	505	258	535	259	504	235	470	△ 34
	役員取引等利益	65	39	76	37	77	39	74	35	72	△ 2
	経費	395	192	380	189	369	166	324	168	327	3
	人件費	176	84	166	78	155	76	150	78	149	△ 1
	物件費	201	97	196	100	195	78	154	77	157	3
	コア業務純益	184	99	197	99	224	109	183	72	172	△ 11
	経常利益	265	162	306	147	313	184	347	125	269	△ 78
	当期利益	167	100	189	98	200	132	247	86	185	△ 62
	与信関係費用	△ 14	△ 25	△ 47	△ 10	△ 6	0	△ 15	△ 4	1	16
もみじ銀行	コア業務粗利益	441	198	386	183	382	187	356	166	340	△ 16
	資金利益	334	176	346	165	340	168	319	149	315	△ 4
	役員取引等利益	32	20	38	19	38	18	35	19	38	3
	経費	301	150	298	148	289	137	274	138	261	△ 13
	人件費	141	68	138	67	132	63	129	64	119	△ 10
	物件費	144	73	145	72	140	64	127	62	122	△ 5
	コア業務純益	139	48	88	34	93	50	81	28	78	△ 3
	経常利益	170	78	173	60	154	84	154	114	157	3
	当期利益	125	57	129	45	106	63	104	81	109	5
	与信関係費用	18	△ 14	△ 22	△ 10	△ 25	△ 15	△ 18	△ 9	△ 11	7
北九州銀行	コア業務粗利益	108	53	108	54	110	55	112	55	112	0
	資金利益	99	48	97	49	98	50	102	52	105	3
	役員取引等利益	7	3	8	4	8	3	8	3	7	△ 1
	経費	89	43	89	45	91	46	93	47	91	△ 2
	人件費	41	20	41	20	41	21	43	21	42	△ 1
	物件費	43	20	43	21	43	21	43	22	43	0
	コア業務純益	18	10	19	9	18	8	18	8	21	3
	経常利益	20	8	20	17	29	14	31	22	32	1
	当期利益	12	4	11	10	15	9	18	15	22	4
	与信関係費用	△ 1	2	△ 0	△ 7	△ 9	0	△ 2	△ 12	△ 8	△ 6

※記載金額の単位未満は切捨て表示

貸出金推移(末残)

山口銀行

(億円)

	25/3期	25/9期	26/3期	26/9期	27/3期	27/9期	28/3期	28/9期	29/3期	前年同期比
国内貸出金合計	32,000	32,070	32,696	32,931	34,135	34,123	34,496	34,999	35,908	1,411
法人貸出金	22,024	21,973	22,468	22,378	23,379	22,989	23,021	23,067	23,608	587
大企業	10,034	10,323	10,138	10,252	10,709	10,874	10,535	11,015	11,209	583
中堅企業	971	904	969	957	932	948	926	897	893	△ 33
中小企業等	11,018	10,745	11,360	11,168	11,737	11,167	11,559	11,155	11,506	36
地公体	4,771	4,852	4,941	5,234	5,296	5,586	5,728	6,080	6,207	479
外郭団体	166	146	93	61	71	38	62	31	74	12
個人ローン	5,037	5,098	5,193	5,257	5,387	5,509	5,683	5,820	6,016	333
住宅ローン	4,287	4,376	4,491	4,576	4,723	4,863	5,017	5,162	5,343	326
その他ローン	750	721	701	681	664	645	665	658	672	7

もみじ銀行

(億円)

	25/3期	25/9期	26/3期	26/9期	27/3期	27/9期	28/3期	28/9期	29/3期	前年同期比
国内貸出金合計	18,279	18,975	19,283	19,539	20,063	20,429	20,345	20,677	21,110	764
法人貸出金	12,154	12,406	12,152	12,154	12,358	12,366	12,126	12,280	12,682	556
大企業	3,593	3,553	3,290	3,248	3,336	3,035	3,020	2,793	2,805	△ 214
中堅企業	582	600	611	603	643	647	608	612	682	74
中小企業等	7,978	8,252	8,249	8,302	8,378	8,683	8,498	8,874	9,194	696
地公体	2,101	2,447	2,819	2,988	3,175	3,449	3,416	3,371	3,200	△ 216
外郭団体	64	69	76	60	69	61	58	61	57	△ 1
個人ローン	3,958	4,051	4,235	4,335	4,460	4,551	4,743	4,964	5,169	426
住宅ローン	3,351	3,482	3,672	3,804	3,948	4,041	4,403	4,631	4,837	433
その他ローン	606	569	562	530	512	510	339	332	332	△ 7

北九州銀行

(億円)

	25/3期	25/9期	26/3期	26/9期	27/3期	27/9期	28/3期	28/9期	29/3期	前年同期比
国内貸出金合計	7,654	7,748	8,046	8,417	8,691	9,074	9,552	10,074	10,395	843
法人貸出金	6,003	6,014	6,227	6,356	6,455	6,624	6,930	7,286	7,431	500
大企業	832	825	916	933	934	933	891	952	908	17
中堅企業	552	504	500	496	495	498	533	558	567	34
中小企業等	4,618	4,684	4,810	4,926	5,026	5,191	5,506	5,775	5,955	449
地公体	389	388	378	559	659	810	898	978	1,047	149
外郭団体	55	74	89	83	59	53	50	37	31	△ 18
個人ローン	1,206	1,271	1,350	1,418	1,516	1,586	1,672	1,771	1,884	212
住宅ローン	956	1,006	1,069	1,129	1,207	1,269	1,342	1,428	1,541	198
その他ローン	249	264	281	289	308	317	330	343	343	13

※計数は国内勘定のみ。記載金額は単位未満を切捨て表示

Yamaguchi Financial Group

預金推移(末残)

山口銀行

(億円)

		25/3期	25/9期	26/3期	26/9期	27/3期	27/9期	28/3期	28/9期	29/3期	前年同期比
預金		49,121	48,861	51,281	51,655	54,467	52,647	55,610	53,073	51,953	△ 3,657
内容別	一般	42,935	42,760	44,174	44,866	46,740	45,597	46,792	45,910	46,337	△ 454
	うち個人	30,207	30,476	30,624	31,052	31,460	31,823	32,026	32,140	32,400	374
	うち法人	12,728	12,284	13,550	13,813	15,280	13,773	14,766	13,769	13,936	△ 829
	公金	2,594	2,830	2,801	2,913	2,769	2,969	2,717	3,025	2,859	141
	金融	3,591	3,270	4,305	3,875	4,957	4,080	6,100	4,137	2,756	△ 3,344
商品別	邦貨定期性預金	27,034	27,309	28,063	28,958	30,022	29,460	31,091	28,211	25,740	△ 5,350
	邦貨流動性預金	21,849	21,327	22,719	22,223	23,533	22,978	24,318	24,547	25,926	1,608
	外貨預金	236	224	497	472	911	209	201	314	286	84

もみじ銀行

(億円)

		25/3期	25/9期	26/3期	26/9期	27/3期	27/9期	28/3期	28/9期	29/3期	前年同期比
預金		28,172	27,949	28,452	28,112	29,455	29,150	29,806	29,204	29,858	51
内容別	一般	26,270	26,348	26,513	26,518	27,237	27,233	27,423	27,292	27,899	476
	うち個人	19,620	19,791	19,835	20,022	20,324	20,431	20,449	20,610	20,879	430
	うち法人	6,650	6,556	6,677	6,495	6,912	6,802	6,973	6,682	7,020	46
	公金	1,173	895	1,147	834	1,469	1,156	1,626	1,163	1,321	△ 304
	金融	727	705	792	759	749	761	757	747	636	△ 121
商品別	邦貨定期性預金	16,536	15,900	16,081	15,529	16,493	15,978	16,230	15,441	15,564	△ 666
	邦貨流動性預金	11,548	11,981	12,314	12,519	12,897	13,107	13,496	13,678	14,214	718
	外貨預金	87	66	56	63	64	64	79	84	78	△ 0

北九州銀行

(億円)

		25/3期	25/9期	26/3期	26/9期	27/3期	27/9期	28/3期	28/9期	29/3期	前年同期比
預金		7,269	7,766	8,298	8,616	8,948	9,449	9,774	10,307	10,731	957
内容別	一般	6,960	7,240	7,793	8,084	8,452	8,581	9,006	9,239	9,701	695
	うち個人	4,192	4,363	4,517	4,692	4,895	4,976	5,051	5,157	5,328	277
	うち法人	2,768	2,876	3,276	3,392	3,556	3,605	3,955	4,082	4,373	418
	公金	254	463	277	432	267	647	385	575	560	175
	金融	55	61	227	98	228	220	382	492	468	86
商品別	邦貨定期性預金	4,398	4,826	4,972	5,240	5,322	5,873	5,961	6,393	6,583	621
	邦貨流動性預金	2,751	2,842	3,242	3,310	3,547	3,506	3,752	3,859	4,086	333
	外貨預金	119	96	82	65	78	69	60	55	61	1

※計数は国内勘定のみ。記載金額は単位未満を切捨て表示

※NCD含む

資金運用勘定・資金調達勘定推移(平残)

山口銀行

(億円)

	25/3期	25/9期	26/3期	26/9期	27/3期	27/9期	28/3期	28/9期	29/3期	前年同期比
資金運用勘定計	48,589	50,390	51,041	52,804	53,425	55,682	55,389	55,922	55,732	343
貸出金	30,803	31,707	32,086	32,785	33,160	34,242	34,236	34,530	35,052	816
有価証券	13,591	15,077	14,864	16,072	16,047	14,894	14,636	13,385	12,940	△ 1,696
コールローン	3,927	3,158	3,175	1,793	2,019	2,703	2,602	3,870	3,687	1,085
資金調達勘定計	46,981	48,748	49,257	50,792	51,348	53,546	53,265	53,856	53,497	232
預金	42,944	45,170	45,668	46,565	46,838	48,253	47,807	48,599	48,075	268
譲渡性預金	4,168	3,327	3,209	3,488	3,745	4,763	4,918	4,488	4,514	△ 404
コールマネー	396	608	664	925	896	659	624	701	812	188

もみじ銀行

(億円)

	25/3期	25/9期	26/3期	26/9期	27/3期	27/9期	28/3期	28/9期	29/3期	前年同期比
資金運用勘定計	27,102	27,630	28,290	28,381	28,536	29,390	29,327	29,550	29,873	546
貸出金	18,024	18,418	18,763	19,120	19,376	20,060	20,221	20,383	20,618	397
有価証券	7,310	8,427	8,109	7,050	6,992	6,962	6,903	7,460	7,561	658
コールローン	1,700	724	653	441	443	503	542	143	81	△ 461
資金調達勘定計	26,382	27,465	27,491	27,622	27,766	28,620	28,539	28,896	29,084	545
預金	25,325	25,907	26,032	26,407	26,533	27,136	27,147	27,387	27,514	367
譲渡性預金	880	1,379	1,249	969	980	1,270	1,208	1,129	1,071	△ 137
コールマネー	9	11	12	9	10	12	17	303	452	435

北九州銀行

(億円)

	25/3期	25/9期	26/3期	26/9期	27/3期	27/9期	28/3期	28/9期	29/3期	前年同期比
資金運用勘定計	7,500	7,841	8,208	8,781	8,927	9,459	9,686	10,335	10,586	900
貸出金	7,194	7,581	7,696	8,146	8,296	8,779	9,026	9,675	9,930	904
有価証券	148	135	137	168	177	194	195	193	195	0
コールローン	123	89	75	47	41	28	17	2	2	△ 15
資金調達勘定計	7,024	7,378	7,525	8,081	8,228	8,759	8,981	9,629	9,875	894
預金	6,307	6,775	6,937	7,459	7,618	8,034	8,173	8,475	8,577	404
譲渡性預金	415	556	560	617	602	712	763	932	985	222
コールマネー	297	42	25	1	4	0	33	211	302	269

※金額は単位未満を四捨五入表示。

利回り・利鞘推移

山口銀行		25/3期	25/9期	26/3期	26/9期	27/3期	27/9期	28/3期	28/9期	29/3期	前年同期比
資金運用利回	①	1.164	1.103	1.090	1.070	1.093	1.019	1.000	0.919	0.931	△ 0.069
貸出金利回	ア	1.431	1.339	1.313	1.262	1.248	1.191	1.186	1.122	1.112	△ 0.074
有価証券利回		0.841	0.811	0.846	0.884	0.997	0.971	0.906	0.890	0.937	0.031
コールローン利回		0.160	0.174	0.166	0.209	0.218	0.300	0.332	0.069	0.065	△ 0.267
資金調達利回	②	0.115	0.108	0.104	0.097	0.095	0.092	0.093	0.084	0.090	△ 0.003
預金利回		0.098	0.096	0.091	0.084	0.081	0.079	0.078	0.062	0.061	△ 0.017
譲渡性預金利回		0.147	0.116	0.111	0.094	0.097	0.095	0.091	0.027	0.022	△ 0.069
コールマネー利回		0.891	0.513	0.513	0.428	0.453	0.557	0.726	1.238	1.448	0.722
経費率	③	0.841	0.786	0.772	0.745	0.720	0.620	0.609	0.623	0.612	0.003
資金調達原価	(②+③) ④	0.956	0.894	0.877	0.842	0.815	0.713	0.702	0.707	0.702	0.000
預金等原価	イ	0.941	0.887	0.871	0.841	0.813	0.707	0.695	0.692	0.681	△ 0.014
預金等利回	ウ	0.103	0.097	0.092	0.085	0.082	0.080	0.079	0.059	0.057	△ 0.022
経費率		0.838	0.790	0.778	0.756	0.730	0.626	0.615	0.632	0.623	0.008
預貸金利鞘	(ア-イ)	0.490	0.452	0.442	0.421	0.435	0.484	0.491	0.430	0.431	△ 0.060
預貸金単純利鞘	(ア-ウ)	1.328	1.242	1.221	1.177	1.166	1.111	1.107	1.063	1.055	△ 0.052
預証単純利鞘		0.738	0.714	0.754	0.799	0.915	0.891	0.827	0.831	0.880	0.053
もみじ銀行		25/3期	25/9期	26/3期	26/9期	27/3期	27/9期	28/3期	28/9期	29/3期	前年同期比
資金運用利回	①	1.317	1.357	1.305	1.237	1.261	1.203	1.150	1.072	1.119	△ 0.031
貸出金利回	ア	1.653	1.534	1.498	1.412	1.379	1.291	1.276	1.205	1.185	△ 0.091
有価証券利回		0.725	1.066	1.057	1.114	1.289	1.322	1.113	0.931	1.167	0.054
コールローン利回		0.120	0.115	0.115	0.124	0.122	0.119	0.104	0.011	0.030	△ 0.074
資金調達利回	②	0.084	0.085	0.082	0.073	0.070	0.061	0.062	0.065	0.066	0.004
預金利回		0.078	0.078	0.076	0.067	0.063	0.051	0.050	0.051	0.049	△ 0.001
譲渡性預金利回		0.139	0.114	0.118	0.116	0.115	0.099	0.095	0.039	0.031	△ 0.064
コールマネー利回		0.297	0.225	0.260	0.320	0.346	0.498	0.423	0.007	0.000	△ 0.423
経費率	③	1.144	1.091	1.084	1.071	1.042	0.955	0.963	0.955	0.900	△ 0.063
資金調達原価	(②+③) ④	1.228	1.176	1.166	1.144	1.112	1.016	1.025	1.020	0.966	△ 0.059
預金等原価	イ	1.232	1.179	1.171	1.150	1.117	1.016	1.022	1.019	0.965	△ 0.057
預金等利回	ウ	0.080	0.080	0.078	0.069	0.065	0.053	0.052	0.051	0.049	△ 0.003
経費率		1.152	1.098	1.093	1.080	1.052	0.962	0.969	0.968	0.915	△ 0.054
預貸金利鞘	(ア-イ)	0.421	0.355	0.327	0.262	0.262	0.275	0.254	0.186	0.220	△ 0.034
預貸金単純利鞘	(ア-ウ)	1.573	1.454	1.420	1.343	1.314	1.238	1.224	1.154	1.136	△ 0.088
預証単純利鞘		0.645	0.986	0.979	1.045	1.224	1.269	1.061	0.880	1.118	0.057
北九州銀行		25/3期	25/9期	26/3期	26/9期	27/3期	27/9期	28/3期	28/9期	29/3期	前期比
資金運用利回	①	1.455	1.372	1.309	1.224	1.210	1.159	1.146	1.073	1.063	△ 0.083
貸出金利回	ア	1.462	1.375	1.352	1.271	1.251	1.196	1.178	1.098	1.083	△ 0.095
有価証券利回		1.960	1.987	1.996	2.004	2.000	2.066	2.141	2.174	2.302	0.161
コールローン利回		0.671	0.395	0.401	0.454	0.470	0.484	0.563	1.772	1.708	1.145
資金調達利回	②	0.139	0.138	0.130	0.117	0.111	0.102	0.100	0.074	0.069	△ 0.031
預金利回		0.137	0.136	0.128	0.114	0.108	0.096	0.094	0.077	0.072	△ 0.022
譲渡性預金利回		0.155	0.131	0.134	0.138	0.139	0.153	0.151	0.056	0.049	△ 0.102
コールマネー利回		0.116	0.119	0.123	0.435	0.194	0.098	0.047	0.005	0.033	△ 0.014
経費率	③	1.280	1.177	1.192	1.114	1.107	1.063	1.041	0.979	0.923	△ 0.118
資金調達原価	(②+③) ④	1.420	1.316	1.322	1.232	1.218	1.165	1.141	1.053	0.992	△ 0.149
預金等原価	イ	1.476	1.321	1.325	1.231	1.218	1.166	1.146	1.077	1.023	△ 0.123
預金等利回	ウ	0.138	0.135	0.128	0.116	0.110	0.101	0.099	0.075	0.070	△ 0.029
経費率		1.338	1.185	1.196	1.115	1.108	1.065	1.046	1.002	0.953	△ 0.093
預貸金利鞘	(ア-イ)	△ 0.014	0.054	0.027	0.040	0.033	0.030	0.032	0.021	0.060	0.028
預貸金単純利鞘	(ア-ウ)	1.324	1.240	1.224	1.155	1.141	1.095	1.079	1.023	1.013	△ 0.066
預証単純利鞘		1.822	1.852	1.868	1.888	1.890	1.965	2.042	2.099	2.232	0.190

※単位未満を切捨表示。

本資料の将来の業績に関わる記述については、その内容を保証するものではなく、経営環境の変化等による不確実性を有しておりますのでご留意下さい。

【 本日の会社説明会に関するご照会先 】

株式会社 山口フィナンシャルグループ

総合企画部 渡 部

カスタマーコミュニケーション部 生 木

TEL 083-223-7120

FAX 083-233-5850

<http://www.ymfg.co.jp/>